

# Arcstar Smart PBX

## IP電話機操作マニュアル v2.2

KX-HDV130N(ベーシックモデル)

KX-HDV230N(ミッドレンジモデル)

NTTコミュニケーションズ株式会社

## 改版履歴

改訂番号	変更日付	変更内容
1.0	2014/03/31	初版
1.5	2019/06/27	「9.マルチライン」を修正 「11.3 IP電話機接続の注意」を追記 「11.4 IP電話機へのデータ反映」を追記 「11.5 IP電話機が操作できなくなった場合」を追記
1.6	2019/10/23	「5.2 パーク保留中の電話に応答する」を修正 「6.1 保留転送」を修正 「6.3 不在転送」を修正 「8.2 電話帳のインポート/エクスポート」を修正 「10.10 話中着信（コールウェイティング）」を修正 「10.11 パソコンから内臓Webへアクセス」を修正 「11.4 IP電話機へのデータ反映」を修正 「11.5 IP電話機が操作できなくなった場合」を修正
1.7	2020/05/01	「4.2 保留電話への応答」を修正
1.8	2020/08/03	「5.2 パーク保留」を修正
1.9	2020/12/18	「5.2 パーク保留」を修正 「6.1 保留転送」を修正
2.0	2022/01/12	「3.4 着信時のセルフラベリング自動切替」を追記 「5.2.2 パーク保留」を修正
2.1	2022/04/04	「8.3 電話帳インポート用データ作成手順」を修正
2.2	2023/02/21	取扱説明書のURLを変更、ヘッドセット情報に関するURLを削除、

# 目次

1- 機能説明	p.4	9- マルチライン	p.48
1.1 電話機機能		9.1 マルチラインとは	
1.2 液晶画面		9.2 マルチラインの電話のかけ方	
1.3 基本的な操作のしかた		9.3 マルチラインの電話の受け方	
2- 発信	p.14	9.4 マルチラインの保留	
2.1 電話のかけ方		9.5 マルチラインのコールピックアップ/パーク保留	
2.2 内線発信		9.6 マルチラインの留守番電話	
2.3 外線発信		9.7 マルチラインの着信音	
2.4 短縮発信		10- その他	p.55
2.5 履歴発信		10.1 着信音の変更	
2.6 再ダイヤルをする		10.2 LCDコントラスト	
3- 着信	p.19	10.3 バックライト	
3.1 電話の受け方		10.4 パスワード変更	
3.2 着信拒否		10.5 インフォメーション表示	
3.3 不在着信件数の表示		10.6 ネットワーク設定	
3.4 着信時のセルフラベリング切換		10.7 リスタート	
4- 保留	p.23	10.8 内線テストコール	
4.1 通話中保留		10.9 本機を接続/設置する	
4.2 保留電話への応答		10.10 話中着信（コールウェイトイング）	
5- コールピックアップ/パーク保留	p.25	10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス	
5.1 コールピックアップ		11- 留意点	p.69
5.2 パーク保留		11.1 ご利用ネットワーク環境における設定	
6- 転送	p.29	11.2 IP電話機お買上げ時の管理者権限	
6.1 保留転送		11.3 IP電話機接続の注意	
6.2 ブラインド転送		11.4 IP電話機へのデータ反映	
6.3 不在転送		11.5 IP電話機が操作できなくなった場合	
7- 留守番電話	p.31	12- 機能用語集	p.72
7.1 留守番電話		12.1 コールピックアップとは	
8- 電話帳(個人電話帳)	p.33	12.2 パーク保留とは	
8.1 電話帳登録			
8.2 電話帳のインポート/エクスポート			
8.3 電話帳インポート用データ作成手順			
8.4 電話帳から発信			
8.5 文字入力のみ			
8.6 電話帳のロック・解除			

## 1- 機能説明

---

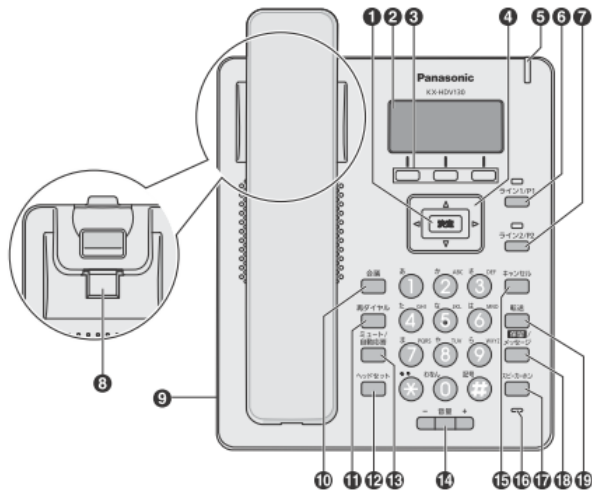
**1.1 電話機機能**

**1.2 液晶画面**

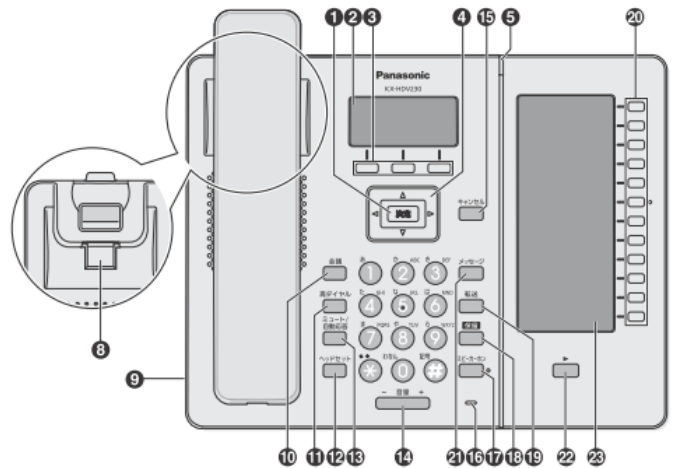
**1.3 基本的な操作のしかた**

# 1.1 電話機機能

KX-HDV130N



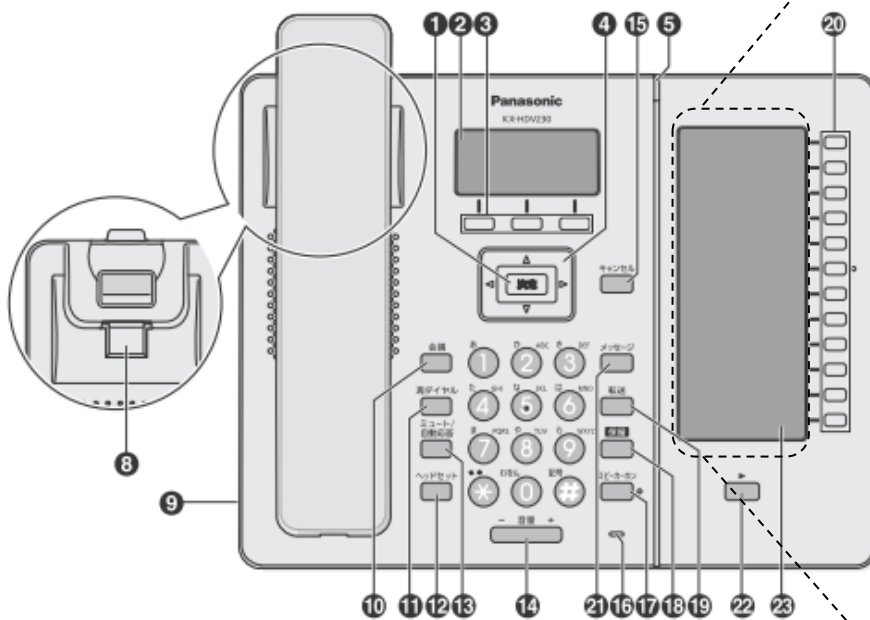
KX-HDV230N



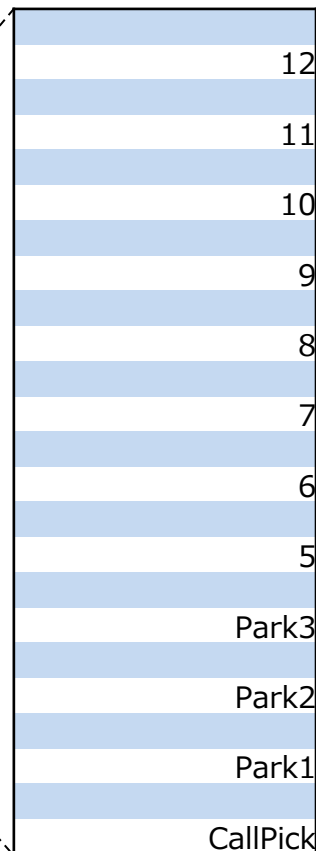
①	決定キー	⑬	ミュート/自動応答キー ※本サービスで動作については保証していません
②	液晶表示部	⑭	音量キー
③	ソフトキー	⑮	キャンセルキー
④	ナビゲーションキー	⑯	マイク
⑤	メッセージ/リンガー LED	⑰	スピーカーホンキー
⑥	回線 1 / フレキシブル機能キー 1 ※本サービスで動作については保証していません	⑱	保留/メッセージキー (KX-HDV130N) 保留キー (KX-HDV230N)
⑦	回線 2 / フレキシブル機能キー 2 ※本サービスで動作については保証していません	⑲	転送キー
⑧	受話器フック	⑳	フレキシブル機能キー-[01~12] (KX-HDV230N のみ)
⑨	ヘッドセットジャック	㉑	メッセージキー (KX-HDV230N のみ) ※本サービスで動作については保証していません
⑩	会議キー ※本サービスで動作については保証していません	㉒	ページキー (KX-HDV230N のみ)
⑪	再ダイヤルキー	㉓	セルフラベリング液晶表示部 (KX-HDV230N のみ)
⑫	ヘッドセットキー		

●フレキシブル機能キー ボタンの配列

KX-HDV230N



ボタンの配列

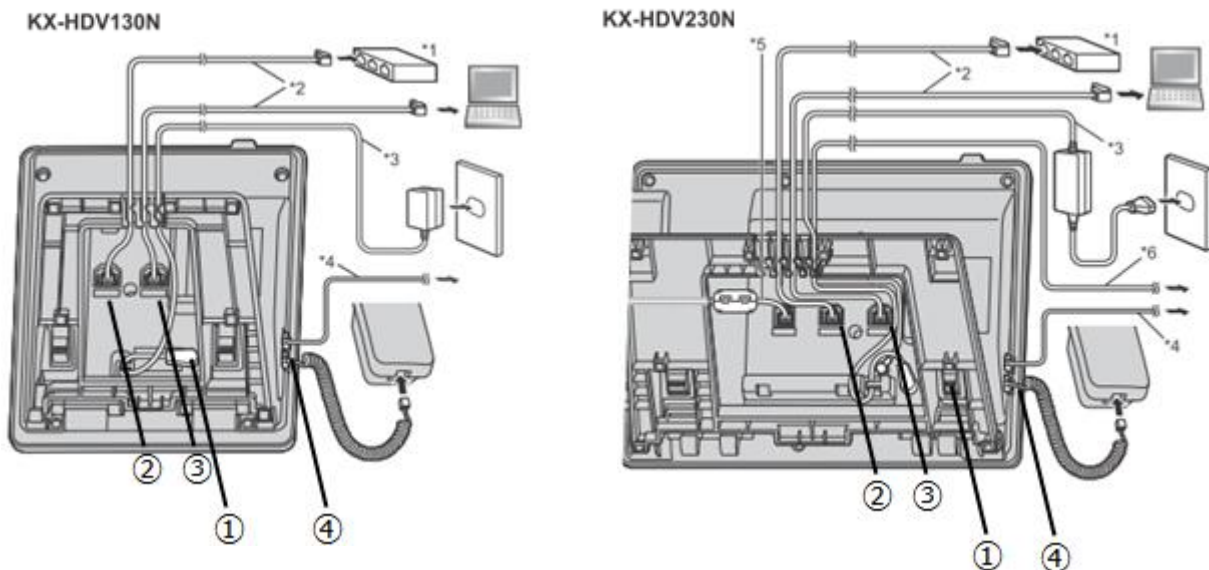


## 1.1 電話機機能

### 1.1.1 各部機能

①	決定キー	項目を決定したり、設定内容を保存するときに使用します。
②	液晶表示部	
③	ソフトキー	液晶表示部に表示されている項目を選択します。
④	ナビゲーションキー	着信履歴を表示したり、電話帳を開くときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 左矢印【◀】：着信履歴を表示する</li> <li>• 右矢印【▶】：電話帳を開く</li> </ul>
⑤	メッセージ/リンガー LED	LED の色で本機の状態を示します。
⑥	回線 1 /フレキシブル機能キー 1 ※本サービスで動作については保証していません	割り当てられた機能の実行に使用します。このキーが回線キーとして登録されると、状態確認や回線 1 の選択に使用します。
⑦	回線 2 /フレキシブル機能キー 2 ※本サービスで動作については保証していません	割り当てられた機能の実行に使用します。このキーが回線キーとして登録されると、状態確認や回線 2 の選択に使用します。
⑧	受話器フック	壁に設置して使用するとき、受話器が落ちないように固定します。
⑨	ヘッドセットジャック	動作確認済みヘッドセットはPanasonicへご確認ください。
⑩	会議キー ※本サービスで動作については保証していません	3 者会議通話するときに使用します。
⑪	再ダイヤルキー	直前に電話をかけた相手に再ダイヤルするときに使用します。
⑫	ヘッドセットキー	ヘッドセットを使って通話をするときに使用します。
⑬	ミュート/自動応答キー ※本サービスで動作については保証していません	通話中に自分の声を相手に聞こえないようにしたり（ミュート）、受話器を使わずに自動的に着信する（自動応答）ように設定するときに使用します。
⑭	音量キー	着信 や受話器の音量を調節するときに使用します。
⑮	キャンセルキー	選択した項目をキャンセルするときに使用します。
⑯	マイク	受話器を取らずに通話するときに使います。
⑰	スピーカーホンキー	受話器をとらずに通話するときに使用します。
⑱	保留/メッセージキー(KX-HDV130N) 保留キー (KX-HDV230N)	通話を保留したり、ボイスメールを確認するときに使用します。 通話を保留するときに使用します。
⑲	転送キー	通話を転送するときに使用します。
⑳	フレキシブル機能キー[01~12] (KX-HDV230N のみ)	各種機能をこのキーに割り当て、実行することができます。例えば、回線ステータスキーとして割り当てた場合、回線の状態を確認することができます。セルフラベリング液晶上で割り当てた機能名を確認することができます。
21	メッセージキー (KX-HDV230N のみ) ※本サービスで動作については保証していません	ボイスメールを確認するときに使用します。
22	ページキー (KX-HDV230N のみ)	セルフラベリング液晶表示部のフレキシブル機能キーの表示を切り替えるときに使用します。1 画面につき 12 個のフレキシブル機能キーを 2 画面に切り替えて表示することができます。
23	セルフラベリング液晶表示部 (KX-HDV230N のみ)	

## 1.1.2 背面



- ① DCジャック
- ② LANポート
- ③ PCポート
- ④ 受話器用モジュージャック

- \*1 スイッチングハブ
- \*2 LAN ケーブル
- \*3 AC アダプター (極性統一形プラグ)
- \*4 市販のヘッドセット  
動作確認済み市販のヘッドセットはPanasonicへご確認ください。
- \*5 連結ケーブル
- \*6 市販の EHS ヘッドセット  
動作確認済み市販の EHS ヘッドセットはPanasonicへご確認ください。



## 1.2 液晶画面



### ①ステータスアイコン

アイコン	説明
	不在転送が設定されています。
	不在設定が設定されています。
	自動応答が設定されています。
	着信音がオフになっています。
	【▲】または【▼】を押してページを切り替えることができます。

### ②日時

### ③不在着信、新着のボイスメール、発信者名や着信番号

### ④ソフトキーアイコン

## 1.2.1 ソフトキーとソフトキーアイコンについて

液晶表示部に表示されているソフトキーアイコンを選択するには、アイコンの下のソフトキーを押します。

ソフトキー-[1] (左) / [2] (中央) / [3] (右)

アイコン	説明
	電話帳を開きます。このキーを2秒以上長押しすると、電話帳がロックされます。パスワードの設定をしていないと、電話帳ロックはできません。（“4.2 パスワードを設定する”参照） パスワード入力を求められた場合、電話帳がロックされています。一時的にロック解除する場合は短押し、完全に解除する場合は2秒以上長押し後、パスワードを入力してください。
	前の画面に戻ります。
	電話に応答します。
	回線選択画面を表示します。*
	パーク保留や確認転送を実行するときに使用します。
	メニューを表示します。
	入力、設定を確定します。
	電話をかけます。
	着信音をオフにします。
	電話帳に新しい連絡先を登録します。
	発信履歴を開くときに使用します。
	着信履歴を開くときに使用します。
	表示される内容を削除します。
	発信履歴と着信履歴を開くときに使用します。
	マルチキャストページング受信時に音を消すときに使用します。
	ブラインド転送を行います。
	アルファベット入力モードのときに表示されます。
	数字入力モードのときに表示されます。
	ひらがな、漢字を入力するときに使用します。

## 1.2 液晶画面

アイコン	説明
<b>カナ</b>	カタカナを入力するときに使用します。
<b>全角</b>	全角文字を入力するときに使用します。
<b>半角</b>	半角文字を入力するときに使用します。
<b>変換</b>	入力した文字を変換するときに使用します。
<b>拒否</b>	着信を拒否します。
<b>次へ</b>	次の画面へ進みます。
<b>クリア</b>	数字や文字を削除します。
<b>検索</b>	電話帳にある連絡先を検索するときに使用します。
<b>AM/PM</b>	時刻設定の午前、または午後を選択するときに使用します。
<b>キャンセル</b>	表示される内容を取り消します。
<b>保存</b>	表示される内容を保存します。
<b>不在</b>	不在転送と不在設定を設定します。
<b>ホット0～ホット9</b>	ホットキーに割り当てられた電話番号にダイヤルします。
<b>パーク<sup>2</sup></b>	パーク保留に応答するときに使用します。

<sup>1</sup> KX-HDV230N のみ

<sup>2</sup> このソフトキーは、電話機に設定されているときのみ表示されます。

## 1.3 基本的な操作のしかた

この章では、本機の基本的な使用方法について説明します。

### **本機の内線番号を確認する**

- ・ 待機中(通話中または発信中以外)に、本機の内線番号を確認できます。
- ・ 不在着信が表示されている場合は、着信履歴にて不在着信内容を確認することで不在着信表示を消すことができます。

### **● 受話器を取る/戻す**

本機では、複数の方法で電話をかけたり切ったりすることができます。

- ・ 受話器を使う
- ・ 【スピーカーホン/ヘッドセット】を使う
- ・ ソフトキーを使う

### **受話器を取る**

本書で「受話器を取る」という表記をしている場合、以下のいずれかの操作を行えます。

- ・ 受話器を受話器フックから持ち上げる
- ・ 受話器が受話器フックに置かれているときに【スピーカーホン/ヘッドセット】を押す  
この操作を行うと、ハンズフリーで通話ができます。
- ・ ヘッドセットを使って通話をするときに【スピーカーホン/ヘッドセット】を押す



【応答】などのソフトキーを押しても、【スピーカーホン】と同じ操作を行うことができます。

### **受話器を戻す**

本書で「受話器を戻す」という表記をしている場合、以下のいずれかの操作を行えます。

- ・ 受話器を受話器フックに置く
- ・ ハンズフリーまたはヘッドセットでの通話中に【スピーカーホン】を押す

### ● 受話器を取らずに通話する(ハンズフリー)

ハンズフリー機能を使用して、受話器を使わずに通話ができます。  
通話中に何かを書きとめたりする場合に便利です。

#### ハンズフリー機能を利用する

以下のいずれかの操作を行うと、ハンズフリーで通話ができます。

- ・ 待機中に【スピーカーホン】を押す
- ・ 受話器での通話中に【スピーカーホン】を押し、受話器を戻す。
- ・ 電話に応答するときに、【応答】を押す
- ・ 待機中（消灯）のフレキシブル機能キーを押す（KT-HDV230Nのみ）
- ・ 着信中（青点滅 [速]）のフレキシブル機能キーを押す（KT-HDV230Nのみ）
- ・ 保留中（青点滅 [遅]）のフレキシブル機能キーを押す（KT-HDV230Nのみ）

#### ハンズフリーを終了する

【スピーカーホン】を再度押す、または受話器を戻すことで、ハンズフリー機能を終了することができます。

### ● 相手の声を周りの人に聞かせる(オフフックモニタ)

以下の操作を行うと、受話器での通話中に、通話相手の声をスピーカーから自分の周りにいる人に聞かせることができます。

- ・ 【スピーカーホン】を押し、受話器を戻さずに通話する
- ・ オフフックモニタを終了するには、【スピーカーホン】を再度押す



オフフックモニタ中に受話器を戻すと、ハンズフリー通話になります。

### ● 音量調節をする

音量キーの【+】と【-】を使って、着信、受話器、ヘッドセット、スピーカーの音量を調節することができます。

#### 着信音量を調節する

着信中、【+】または【-】を押す



- ・ 設定メニューからも着信音量を調節することができます。
- ・ 着信音量を一番下まで下げると「オフ」が表示されます。

#### 受話器/ヘッドセット/スピーカーの音量を調節する

受話器、ヘッドセット、またはハンズフリーでの通話中に、【+】または【-】を押す

## 2- 発信

---

- 2.1 電話のかけ方
- 2.2 内線発信
- 2.3 外線発信
- 2.4 短縮発信
- 2.5 履歴発信
- 2.6 再ダイヤルをする

## 2.1 電話のかけ方

この章では、電話のかけ方について説明します。

### 電話をかける

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 電話番号を入力する(最大32桁)
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

### 電話番号を確認してから電話をかける(プリセットダイヤル)

待機中、受話器を置いたまま電話をかけることができます。

- ・ 入力した番号を削除するには、【クリア】を押してください。
- ・ 番号をすべて削除するには、【クリア】を長押ししてください。
- ・ 電話をかけるには、受話器を取るか【決定】を押してください。

## 2.2 内線発信

### 内線に電話をかける(同一の拠点番号の内線への電話)

発信者と同じ拠点番号の内線に電話をかける方法です。

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 端末番号を入力する
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

### 内線に電話をかける(異なる拠点番号の内線への電話)

発信者と違う拠点番号の内線に電話をかける方法です。

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 内線番号(拠点番号+端末番号)を入力する
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す



内線番号は、1～11桁の拠点番号 + 2～11桁の端末番号で構成される最大22桁の数字になります。

## 2.3 外線発信

### 外線電話をかける

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 外線番号をダイヤルする。

※Web設定変更サイトの外線Prefix設定において「0+外線番号で発信」を選択している場合は、外線発信用の特番0に続き、外線番号のみをダイヤルします。

- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

## 2.4 短縮発信（KX-HDV230Nのみ）

フレキシブル機能キーにワンタッチ(短縮ダイヤル)の設定をしている場合は、ワンタッチが設定されたフレキシブル機能キーを使って簡単に電話をかけることができます。

- ① 受話器を取り、ワンタッチが設定されたフレキシブル機能キーを押す
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

### ●ワンタッチの設定方法

#### 電話機から設定する場合

- ① 待機中に【メニュー】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して【基本設定】を選択し、【決定】を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して【キーオプション】を選択し、【決定】を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して【機能キー】を選択し、【決定】を押す
- ⑤ 割り当てるキーを選択（下図の赤実線部分）
- ⑥ 【ワンタッチダイヤル】を選択し、【決定】を押す
- ⑦ 【0:デフォルト】を選択し、【決定】を押す
- ⑧ 電話番号を入力し、【決定】を押す
- ⑨ 名前を入力し、【決定】を押す（セルフラベリングに表示する文字）





### パソコンから設定する場合

パソコンからIP電話機の内蔵Web（Webプログラミング）へ入り、ワンタッチを設定する。  
 パソコンから内蔵Webへアクセスについては、【10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス】を参照してください。

- (A) [電話設定]タブをクリック
- (B) [フレキシブルキー設定]をクリック
- (C) ボタン種別（ワンタッチダイヤル）、ボタン情報（電話番号(ハイフン不要)）、ボタン名を入力  
 入力後、【登録】をクリック

**Panasonic**  
 KX-HDV230

機器情報    システム設定    VoIP    **電話設定** (A)

ログアウト  
 Web®-トク0-ズ

電話設定

電話機能設定

- 回線1
- 回線2
- 回線3
- 回線4
- 回線5
- 回線6

ホットライン設定  
**フレキシブルキー設定** (B)  
 電話帳インポート  
 電話帳エクスポート

**フレキシブルキー設定**

番号	ボタン種別	ボタン情報	ボタン名
1	コールパーク	*4	CallPick
2	BLF	1001	Park1
3	BLF	1002	Park2
4	BLF	1003	Park3
5	ワンタッチダイヤル	050xxxxxxx (C)	xxxx
6			
7			
8			

## 2.5 履歴発信

### 通話履歴から電話をかける

通話履歴にある電話番号に電話をかけることができます。

着信履歴のうち不在着信は不在着信(履歴)にも表示されます。

- ① 【履歴】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して通話履歴の種類を選択し、【決定】を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して電話をかけたい連絡先を選択する
- ④ 受話器を取る
- ⑤ 通話が終わったら、受話器を戻す

## 2.6 再ダイヤルをする

最後にかけた電話番号に、再度電話をかけることができます

- ① 【再ダイヤル】を押す
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

## 3- 着信

---

- 3.1 電話の受け方
- 3.2 着信拒否
- 3.3 不在着信件数の表示

## 3.1 電話の受け方

電話の受け方について説明します

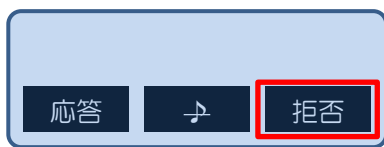
- ① 受話器を取る
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

## 3.2 着信拒否

電話がかかってきても着信をしないようにしたり、ある特定の番号からの着信をうけないように設定できます

### 着信中に電話を拒否する

- ① 着信中に【拒否】を押す



### 3.2.1 特定番号着信拒否

特定の電話番号からの着信を拒否することができます

#### 電話番号を登録する

着信を拒否したい電話番号を、着信拒否番号リストに最大30件まで登録することができます。

- ① 待機中に【メニュー】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して「基本設定」を選択し、【決定】を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して「通話設定」を選択し、【決定】を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して「着信拒否(番号)」を選択し、【決定】を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して空白行を選択し、【メニュー】を押す
- ⑥ 【▲】または【▼】を押して「編集」を選択し、【決定】を押す
- ⑦ 電話番号を入力し(最大32桁)【保存】を押す



続けて他の電話番号を登録する場合は、手順⑤からの操作を繰り返します。

### 着信履歴または不在着信にある番号を登録する

着信履歴または不在着信から電話番号を登録することができます。

- ①待機中に[履歴]を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「着信履歴」または「不在着信」を選択し、[決定]を押す
- ③【▲】または【▼】を押して着信を拒否したい電話番号を選択し、[メニュー]を押す
- ④【▲】または【▼】を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
- ⑤電話番号を確認し[決定]を押す



1分間ボタン操作がない場合は、待機画面に戻ります。

### 登録した電話番号を編集する

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
- ③【▲】または【▼】を押して「通話設定」を選択し、[決定]を押す
- ④【▲】または【▼】を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
- ⑤【▲】または【▼】を押して電話番号を選択し、[メニュー]を押す
- ⑥【▲】または【▼】を押して「編集」を選択し、[決定]を押す
- ⑦電話番号を編集入力し(最大32桁)[決定]を押す



1分間ボタン操作がない場合は、待機画面に戻ります。

### 登録した電話番号を削除する

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
- ③【▲】または【▼】を押して「通話設定」を選択し、[決定]を押す
- ④【▲】または【▼】を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
- ⑤【▲】または【▼】を押して電話番号を選択し、[メニュー]を押す
- ⑥【▲】または【▼】を押して「番号消去」を選択し、[決定]を押す
- ⑦【▲】または【▼】を押して「はい」を選択し、[決定]を押す



すべての連絡先を削除するには、手順⑥で「番号消去」の代わりに「全番号消去」を選択してください。

## ■ 3.3 不在着信件数の表示

不在着信があると、「不在着信」と表示されます。

- ①【履歴】を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「着信履歴」または「不在着信」を選択し、[決定]を押す



着信履歴画面では、これまで履歴を表示させていなかった不在着信は「新着：未応答」、これまでに履歴を表示させた不在着信は「着信：未応答」、応答済みの着信は「着信：応答済」と表示されます。

### ■ 3.4 着信時のセルフラベリング切替(KX-HDV230Nのみ)

着信時のセルフラベリング液晶画面表示の動作設定を行うことができます。

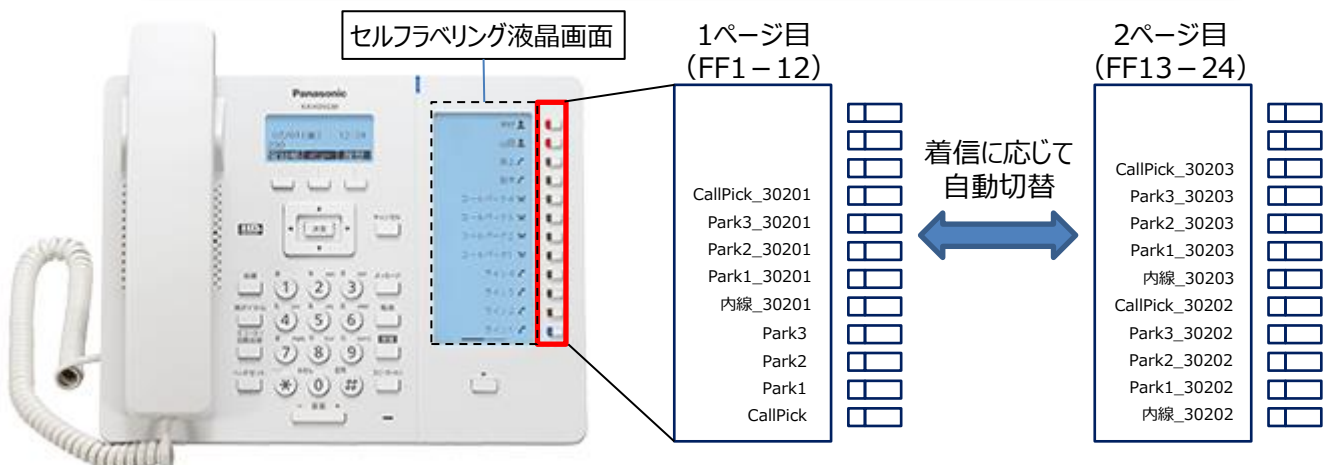
- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[表示オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[サブLCD画面切替]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 以下より選択
  - 0=手動切替 (初期値)
  - 1=切替不可
  - 2=自動/後優先
  - 3=自動/先優先



- ・ファームウェアバージョン 07.001 での機能です。
- ・自動切替有効時に、着信時のセルフラベリング液晶画面が自動で最大2回まで切り換わります。
- ・設定値および動作は以下となります。
  - 0=手動切替 (初期値)
  - 1=切替不可 : FF1-12の面固定表示
  - 2=自動/後優先 : 後に着信した面へ優先的に自動切替
  - ※新規に機能キー (内線ボタン) への着信が発生した場合、着信した機能キー (内線ボタン) の面に切り替わります。
  - 3=自動/先優先 : 先に着信した面へ優先的に自動切替
  - ※着信呼が無い状態で新規に機能キー (内線ボタン) への着信が発生した場合、着信した機能キー (内線ボタン) の面に切り替わります。着信呼がある状態で新規に機能キー (内線ボタン) への着信が発生した場合、面は切り替わらず、さらに最古の着信が消失した場合に次に古い着信の面を表示します。



- セルフラベリング切替設定を自動切替にする場合は、Web設定変更サイトの以下設定にご注意ください。  
(画面が切り換わらない等不安定になる場合があります。)
- ・同一IP-Phone内のマルチライン番号同士で代表グループ、ピックアップ/パーク設定をしないでください
  - ・内線、ピックアップ、パークボタンは同一番ごとにそれぞれ1ページ目/2ページ目に集約して設定ください
  - ・主回線の内線ボタンもしくはピックアップ・パークボタンを設定ください



## 4- 保留

---

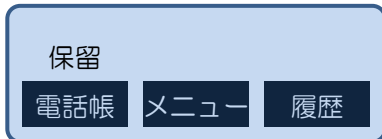
### 4.1 通話中保留

### 4.2 保留電話への応答

## 4.1 通話中保留

通話中の電話を保留にすることができます。

- ① 【保留】を押し、受話器を戻す



(液晶表示部イメージ)



- ・KX-HDV230Nでは、待機中(消灯)又は着信中(青点滅 [速])のフレキシブル機能キーを押して、現在の通話を保留することができます。
- ・保留にしたままで60秒が過ぎると、再度呼出音が鳴ります。



(液晶表示部イメージ)

## 4.2 保留電話への応答

保留中の電話に応答します。

### KX-HDV130Nの場合

- ・受話器を電話機に置いた状態のときは、受話器を取ると応答することができます。
- ・受話器を取った状態のときは、【保留/メッセージ】を押してください。

### KX-HDV230Nの場合

- ・受話器を電話機に置いた状態のときは、【保留】を押下後、受話器を取ると応答することができます。
- ・受話器を取った状態のときは、受話器を戻し、【保留】を押下後、再度受話器を取ってください。



## 5- コールピックアップ/パーク保留

---

### 5.1 コールピックアップ

### 5.2 パーク保留

## 5.1 コールピックアップ

コールピックアップ（用語集【12.1 コールピックアップとは】を参照してください）

### コールピックアップの方法

下記のいずれかの方法でコールピックアップが行えます。

- ・ コールピックアップ特番 \* 4 をダイヤルし、代理応答する
- ・ 点滅しているコールピックアップボタン（下図①の赤実線部分）を押し、代理応答する（電話機のフレキシブル機能キーにコールピックアップボタンが設定されているKX-HDV230Nのみ）

#### ●コールピックアップ特番 \* 4 をダイヤルし、代理応答する

- ① 待機中に受話器を取る
- ② コールピックアップ特番 \* 4 をダイヤル
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
  - ②をダイヤルした端末にて、呼び出し音が鳴っている端末へのコールに対しての代理応答をする

#### ●コールピックアップボタンを押し、代理応答する(KX-HDV230Nのみ)

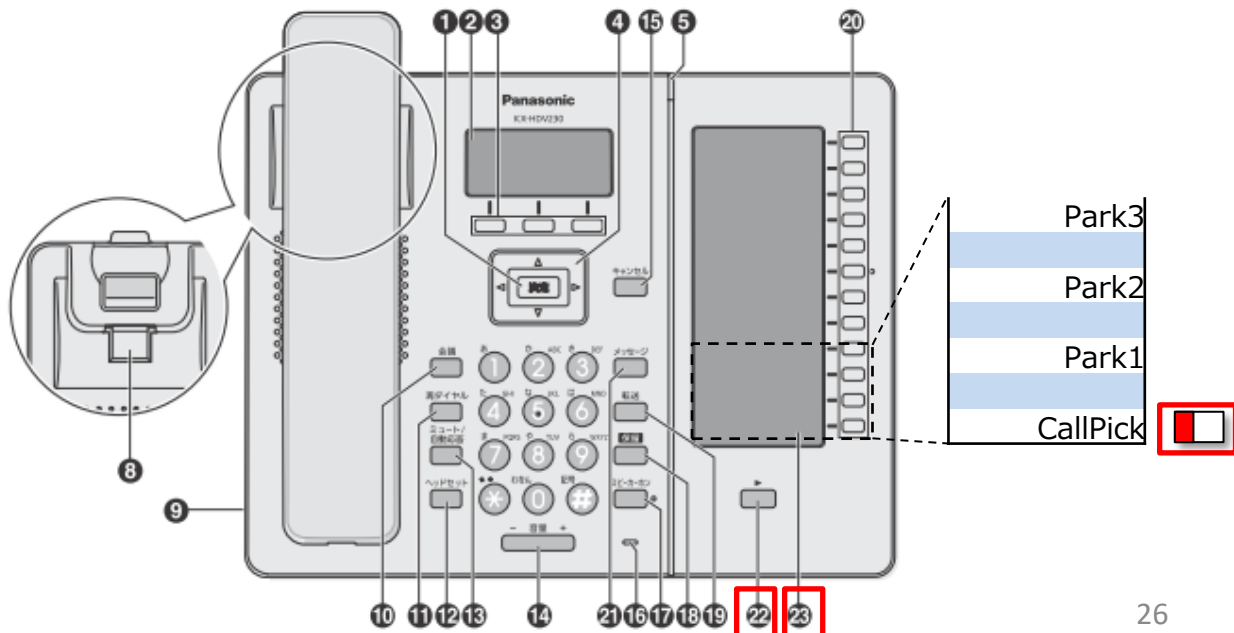
- ① 待機中に、受話器を取る
- ② コールピックアップが設定された使用中(赤点滅[遅])のフレキシブル機能キー（下図①の赤実線部分）を押す



- ・ コールピックアップボタンにより代理応答する場合、代理応答する端末は、呼び出し先(着信先)の番号を判別できません。
- ・ コールピックアップグループが異なる内線への代理応答はできません。
- ・ セルフラベリング液晶表示部(下図(23))、2ページ目が表示されている場合はページキー（セルフラベリング機能を手動設定している場合は、下図(22)）で1ページ目に切り替えてからピックアップを押す必要があります。

(図①)

KX-HDV230N



## 5.2 パーク保留

パーク保留 (用語集【12.2 パーク保留とは】を参照してください)

### 5.2.1 パーク保留をする

- ① 通話中に、パーク保留用特番 \* 3をダイヤル  
または、液晶表示部の【パーク】を押してパーク保留する  
「100X (Xは1~3)」と、パーク保留応答特番のガイダンス (10回) が流れる (2020.8.3~)
- ② 【実行】を押す、または受話器を戻す



・パーク保留を実施した方は、パーク保留中の電話に応答していただきたい方に、上記②のパーク応答特番(ガイダンスにて案内された「100X (Xは1~3)」)を伝えてください。  
 ・誤って(下図②赤実線部分)を押すと、ガイダンス後、ピーピーと音が鳴り続ける状態になります。(パーク保留ではありません)  
 上記の操作をしてしまった場合、液晶表示部【応答】を押すことで通話状態に戻ります。  
 ・パーク保留の操作中に、既にパーク保留されている他の電話にパーク応答する場合は必ず先にパーク保留の操作を②まで完了してください。※1  
 ・パーク保留の操作中に別の電話がかかってきた場合は必ず先にパーク保留の操作を②まで完了してください。あるいは、コールウェイトングの設定を無効にして通話中に2コール目がかかってこないようにしてください。※2  
 コールウェイトングの設定変更は【10.10 話中着信 (コールウェイトング)】をご参照ください。

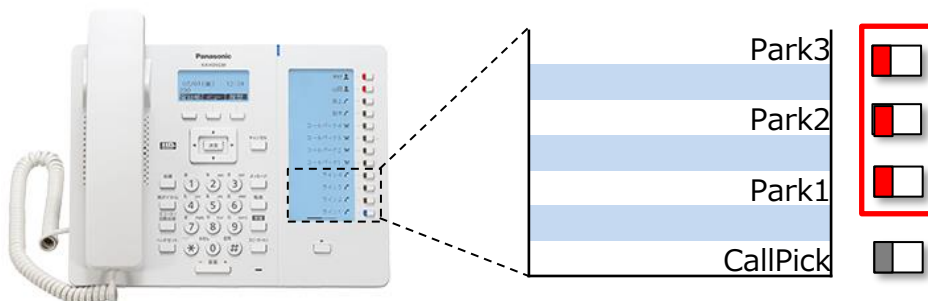
※1 パーク保留の操作中に既にパーク保留されている他の電話にパーク応答すると以下の事象が発生します。

Aさんからの電話をパーク保留操作する際に、操作①のみ実施し、操作②を実施していない状態で既にパーク保留されているBさんからの電話にパーク応答すると、Bさんとの通話が始まります。その状態で受話器を置いてBさんとの通話を切断すると、保留転送と同じ信号がIP Phoneから発出されて保留中のAさんと通話していたBさんがつながり通話状態になります。

※2 パーク保留の操作中に別の電話に応答すると以下の事象が発生します。

Aさんからの電話をパーク保留操作する際に、操作①のみ実施し、操作②を実施していない状態でBさんからかかってきた電話に出るとBさんとの通話が始まります。その状態で受話器を置いてBさんとの通話を切断すると、保留転送と同じ信号がIP Phoneから発出されて保留中のAさんと通話していたBさんがつながり通話状態になります。

(図②)



## 5.2.2 パーク保留中の電話に应答する

下記のいずれかの方法でパーク保留中の電話への应答が行えます。

- ・パーク应答特番（ガイドスにて案内された「100X (Xは1～3)」）をダイヤルし、代理应答する
- ・KX-HDV230Nの場合、パーク应答ボタン（下図②の赤実線部分）を押し、代理应答することができます。

### ●パーク应答特番「100X (Xは1～3)」をダイヤルし、代理应答する

- ① パーク应答特番案内された「100X (Xは1～3)」をダイヤル
- ② 受話器を取る



- ・パーク保留の解除を行う際は、【キャンセル】を2回押せばもとの通話に戻ります。
- ・パーク应答は必ず①②の順番で実施ください。
- ・パーク应答は必ず現在の通話を終了させてからパーク应答してください※1

※1 現在の通話を終了する前にパーク应答をすると以下の事象が発生します。

Aさんからの電話がパーク保留されている状態でBさんからかかってきた電話に出るとBさんとの通話が始められます。その状態でパーク应答①をするとAさんとの通話が始まりBさんとの通話は保留されます。

受話器を置いてAさんとの通話を切断すると、保留転送と同じ信号がIP Phoneから発出されて保留中のBさんと通話していたAさんがつながり通話状態になります。

パーク应答しようとしたタイミングでBさんからかかってくるこの事象が発生しやすいので必ず①②の順番でパーク应答を実施するか、受話器を取ったときに通話状態になっていないことを確認してからパーク应答をしてください。

また、通話状態になっている場合は先にその通話を終了させてからパーク应答してください。

### ●パーク应答ボタンを押し、代理应答する(KX-HDV230Nのみ)

- ① 案内されたパーク应答ボタンを押す
- ② 受話器を取る

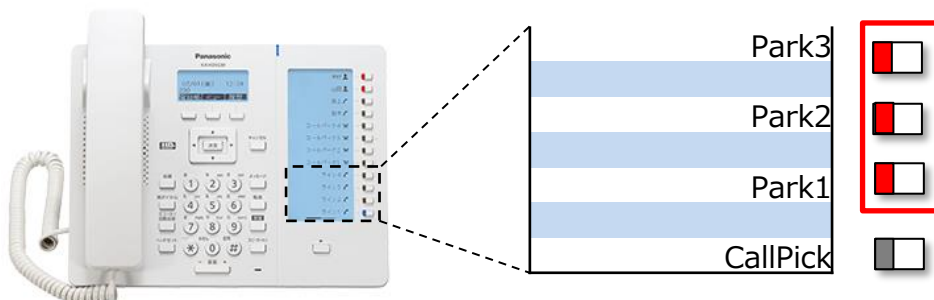


・パーク保留の保留時間は180秒です。保留時間を過ぎると、パーク保留を起動した端末が再度呼び出されますので、必要に応じてパーク保留をやり直してください。

・パーク保留は1パークグループあたり3コールまで使用することができます。

・コールウェイティング無効設定時、パーク保留中に別回線で通話を実施し、パーク保留時間180秒を過ぎてしまうと、パーク保留を実施した端末に保留呼び出しがされず、保留中の電話が切断されます。

(図②)



## 6- 転送

---

- 6.1 保留転送
- 6.2 ブラインド転送
- 6.3 不在転送

## 6.1 保留転送

通話している電話を、別の電話(内線または外線)へ転送することができます。

- ① 通話中に、【転送】を押す
- ② 転送したい相手に電話をかける
- ③ 転送先が応答するのを待つ
- ④ 応答が確認できたら【実行】を押す



- ・②の転送先番号として、内線番号、外線番号を指定することができます。
- ・②を行った後に、転送先番号を間違えた場合、【キャンセル】を2回押せばもとの通話に戻ります。
- ・保留転送先の端末が留守番電話機能を設定中の場合に、保留転送を行った端末が、転送操作(上記④)を行った後に電話を切ってしまった場合は、発信者側の伝言が、保留転送先の留守番電話メッセージとして録音されます。
- ・保留転送先の端末が留守番電話機能を設定中だった場合に保留転送を取消したいときは、【キャンセル】を2回押せばもとの通話に戻ります。
- ・保留転送の操作中に別の電話がかかってきた場合は必ず先に保留転送の操作を④まで完了してから、かかってきた電話に出てください。あるいは、コールウェイトの設定を無効にして通話中に2コール目がかかってこないようにしてください。※1
- ・コールウェイトの設定変更は【10.10 話中着信(コールウェイト)】をご参照ください。
- ・KX-HDV130Nの場合は、2回線(着信呼が2呼まで)の為、通話呼、着信呼が同時に存在する場合は回線が占有されているため転送操作が出来なくなります(転送キー無効)

※1 保留転送の操作中に別の電話に応答すると以下の事象が発生します。  
Aさんからの電話を保留転送操作をしている途中でBさんからかかってきた電話に出るとBさんとの通話が始まります。その状態で受話器を置いてBさんとの通話を切断すると、保留転送と同じ信号がIP Phoneから発出されて保留中のAさんと通話していたBさんがつながり通話状態になります。

## 6.2 ブラインド転送

転送先が応答する前に転送する(ブラインド転送)

- ① 通話中に【ブラインド】を押す
- ② 転送したい相手に電話をかける
- ③ 受話器を戻す



- ・②の転送先番号として、内線番号、外線番号を指定することができます。
- ・②を行った後に、転送先番号を間違えた場合、転送される前であれば、【キャンセル】を1回押せば再度②から操作をやり直すことができます。【キャンセル】を2回押せばもとの通話に戻ります。
- ・転送相手に転送できない場合は、発信者との通話が切断されます。
- ・無応答転送/話中転送/無条件転送/圏外転送については『Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照してください。

## 6.3 不在転送

本サービスで動作については保証していません。

転送先が本サービスの留守番電話機能を設定中の場合は、英語ガイダンスが流れます。

## 7- 留守番電話

---

### 7.1 留守番電話

## 7.1 留守番電話

外出時に備えて、内線番号ごとに留守番電話を利用できます。

### ● 自端末および他端末から留守番電話を確認する

- ① 受話器を取る
- ② 留守番電話アクセス番号 \* 5 をダイヤル
- ③ ガイダンスに伴い内線番号を入力
- ③ ガイダンスに伴い暗証番号XXXX（Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトで確認できます）を入力
- ④ 留守番電話メッセージを聞く



- ・留守番電話用暗証番号(4～8桁の数字)はArcstar Smart PBX Web設定変更サイトで確認できます。
  - ・留守番電話用暗証番号は変更することができません。
  - ・留守番電話メッセージは内線端末からのみ聴取することができます。
  - ・録音された留守番電話メッセージを削除することができます。
  - ・留守電話メッセージの保存上限数は10件です。
  - ・留守番メッセージの保存期間は10日間です。
  - ・録音するメッセージの長さの上限は、120秒/件です。
  - ・留守番電話の設定は端末ユーザでも設定することができます。
- ※端末ユーザについては、『Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照ください。



## 8- 電話帳(個人電話帳)

---

- 8.1 電話帳登録
- 8.2 電話帳のインポート/エクスポート
- 8.3 電話帳インポート用データ作成手順
- 8.4 電話帳から発信
- 8.5 文字入力のしかた

## 8.1 電話帳登録

### ● 電話帳に連絡先を追加する

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「電話帳登録」を選択し、[決定]を押す
- ③名前(最大全角12文字)を入力し、[決定]を押し確定させる
- ④【▲】または【▼】を押して電話番号の種類(①～⑤)を選択し、[決定]を押す
- ⑤電話番号を入力し(最大32桁)、[決定]を押す
- ⑥【▲】または【▼】を押して「グループなし」を選択し、[決定]を押す
- ⑦グループを選択し、[決定]を押す
- ⑧優先して使用する番号を設定するには、【▲】または【▼】を押して「優先番号」を選択し、[決定]を押す
- ⑨【▲】または【▼】を押して優先して使用する番号を選択し、[決定]を押す
- ⑩「保存」を押す



- ・1分間ボタン操作が無い場合は、待機画面に戻ります。
- ・電話番号を追加するには、④及び⑤の手順を繰り返します。
- ・グループに割り当てないときは、⑥及び⑦の手順は不要です。
- ・優先して使用する番号を割り当てない場合は、⑧及び⑨の手順は不要です。  
(この場合は、登録に入力した最初の番号が、優先して使用する番号として自動的に割り当てられます。)

### ● 着信履歴、不在着信または発信履歴から連絡先を追加する

着信履歴、不在着信、または発信履歴を使って、電話帳へ連絡先を追加することができます。

- ①待機中に着信履歴、不在着信、または発信履歴を表示する
- ②【▲】または【▼】を押して登録したい電話番号を選択した後で、[決定]を押す
- ③【▲】または【▼】を押して「電話帳登録」を選択し、[決定]を押す
- ④名前(最大全角12文字)を入力し、[決定]を押し確定させる
- ⑤【▲】または【▼】を押して電話番号の種類(①～⑤)を選択し、[決定]を押す
- ⑥必要に応じて電話番号を編集し(最大32桁)、[決定]を押す
- ⑦【▲】または【▼】を押して「グループなし」を選択し、[決定]を押す
- ⑧グループを選択し、[決定]を押す
- ⑨優先して使用する番号を設定するには、【▲】または【▼】を押して「優先番号」を選択し、[決定]を押す
- ⑩【▲】または【▼】を押して優先して使用する番号を選択し、[決定]を押す
- ⑪「保存」を押す



- ・グループに割り当てないときは、⑦及び⑧の手順は不要です。
- ・優先して使用する番号を割り当てない場合は、⑨及び⑩の手順は不要です。  
(この場合は、登録に入力した最初の番号が、優先して使用する番号として自動的に割り当てられます。)

### ●連絡先を編集する

登録済みの連絡先を編集する

- ①待機中に[電話帳]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③[検索]を押して、名前（フリガナ）を入力し、[決定]を押す
- ④[▲]または[▼]を押して編集する連絡先を選択し、[メニュー]を押す
- ⑤[▲]または[▼]を押して「編集」を選択し、[決定]を押す
- ⑥[▲]または[▼]を押して、編集したい項目を選択し[決定]を押す
- ⑦必要に応じてデータを編集し、[決定]を押す。
- ⑧手順⑥から⑦を繰り返し、変更したい項目を選択し[決定]を押す
- ⑨[保存]を押す



- ・文字や数字を変更するには、[←]または[→]を押してハイライト表示してから、[クリア]削除し、新しい文字や数字を入力します。
- ・1行全体を削除したいとこいは、[クリア]を1秒以上長押しします。
- ・カーソルを左または右に動かすときは、それぞれ[←][→]を押します。

### ●グループ名を編集する

電話帳にあるグループ名を編集することができます。

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
- ③[▲]または[▼]を押して「表示オプション」を選択し、[決定]を押す
- ④[▲]または[▼]を押して「グループ名」を選択し、[決定]を押す
- ⑤[▲]または[▼]を押して編集したいグループ番号(1~9)を選択し、[決定]を押す
- ⑥グループ名を入力（最大半角13文字）し、[決定]を押す
- ⑦手順⑤から⑥を繰り返し、グループ名を編集する

### ●連絡先を検索する

名前で検索する

- ①待機中に[電話帳]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③[検索]を押して、名前（フリガナ）を入力し、[決定]を押す
- ④[▲]または[▼]を押して項目を選択し、[決定]を押す
- ⑤[▲]または[▼]を押して電話をかけたい電話番号を選択する
- ⑥受話器をとり、電話をかける



手順④で[▲]または[▼]を長押しすると、次の連絡先または前の連絡先が自動的に表示されます。

### ●グループで検索する

電話帳にある連絡先がグループに割り当てられている場合、グループにより検索ができます。

- ①待機中に[電話帳]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③[検索]を押して、[#]を押す
- ④[▲]または[▼]を押してグループを選択し、[決定]を押す
- ⑤グループにある連絡先の名前、または名前の最初の文字を入力し、[決定]を押す
- ⑥[▲]または[▼]を押して項目を選択する
- ⑦受話器をとり、電話をかける

**●連絡先を削除する**

- ①待機中に[電話帳]を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③[検索]を押して、名前（フリガナ）を入力し、[決定]を押す
- ④【▲】または【▼】を押して削除したい連絡先を選択する
- ⑤[メニュー]
- ⑥【▲】または【▼】を押して「番号消去」を選択し、[決定]を押す
- ⑦【▲】または【▼】を押して「はい」を選択し、[決定]を押す



すべての連絡先を削除するには、手順⑥で「番号消去」の代わりに「全番号消去」を選択してください。

## 8.2 電話帳のインポート/エクスポート

### ● 電話帳インポート

パソコンからIP電話機の内蔵Web（Webプログラミング）へ入り、電話帳データをインポートする。  
 パソコンから内蔵Webへアクセスについては、【10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス】を参照してください。  
 ※電話帳データ作成手順については、【8.3 電話帳インポート用データ作成手順】を参照してください。




- ・インポートする電話機の電話帳に氏名と電話番号が同じ連絡先が既に存在する場合、その連絡先は追加されません。
- ・電話帳データのインポートを開始すると、【ファイル処理中】画面が表示されます。この画面は定期的に更新されます。ただし、一部のWebブラウザでは自動的に画面は更新されません。この場合、画面がタイムアウトする前に、【ここ】をクリックすると、インポートが正しく実行されます。
- ・設定反映が完了するまで5分間かかります。
- ・設定反映完了後までに着信すると、端末が自動再起動してしまう場合がございます。正常に起動しない可能性があるため、改めて再起動を実施してください。
- ・IP電話機への設定反映には時間が掛かる為、着信が多い時間帯を避けて設定いただくことをお勧めします。

- (A) [電話設定]タブをクリック
- (B) [電話帳インポート]をクリック
- (C) インポートファイル名 [ファイルを選択]をクリック
- (D) [インポート]をクリック



### インポートファイル名

説明	パソコンからインポートするTSV（タブ区切り形式）ファイルのパスを指定します。
設定値	<p>制限なし</p> <div style="border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;">  <p>フィールドエントリの長さに制限はありません。ただし、256文字未満のパスを使用することをお勧めします。長いパスを指定すると、データ転送に時間がかかって、内部エラーが発生する場合があります。</p> </div>
初期値	空の文字列

### ● 電話帳エクスポート

パソコンからIP電話機の内蔵Web（Webプログラミング）へ入り、電話帳データをエクスポートする。  
 パソコンから内蔵Webへアクセスについては、【10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス】を参照してください。



- ・電話帳データのエクスポートを開始すると、【ファイル処理中】画面が表示されます。この画面は定期的に更新されます。メッセージの【ここ】をクリックすると、【電話帳エクスポート】画面が再度開きます。クリックしないと、エクスポートが完了した後も【ファイル処理中】画面は開いたままになります。一部のWebブラウザでは、画面は自動的に更新されません。この場合、画面がタイムアウトする前に【ここ】をクリックすると、エクスポートが正しく実行されます。
- ・Webブラウザのセキュリティ設定によっては、エクスポート中にポップアップメニューがブロックされる事があります。ポップアップブロック設定が有効になっていると、セキュリティの警告ウィンドウが開きエクスポートが正しく実行されない場合があります。この場合、エクスポートを再度実行するか、Webブラウザのポップアップブロック機能を無効にしてください。

- (A) [電話設定]タブをクリック
- (B) [電話帳インポート]をクリック
- (C) [エクスポート]をクリック

The screenshot shows the Panasonic KX-HDV230 web interface. At the top, the '電話設定' (Phone Settings) tab is selected and highlighted with a red box and circled 'A'. The main content area is titled '電話帳エクスポート' (Export Phonebook) and contains the text: '[エクスポート] ボタンをクリックすると、端末から電話帳を読み込みます。' (Clicking the [Export] button will load the phonebook from the terminal). Below this text, the 'エクスポート' (Export) button is highlighted with a red box and circled 'C'. In the left sidebar, the '電話帳エクスポート' (Export Phonebook) option is highlighted with a red box and circled 'B'.

## 8.3 電話帳インポート用データ作成手順

1. 電話帳データをエクスポートする
2. テキストエディタで電話帳データを開く
3. テキストエディタで電話帳データを編集する
4. 電話帳データをUTF-8形式で保存する

### 1. 電話帳データをエクスポートする

この画面で、電話機に保存されている電話帳データをTSV形式のファイルとして、パソコンに保存します。  
 → exportphonebook\_hs1.tsv



**Panasonic**  
**KX-HDV230**    機器情報    システム設定    VoIP    電話設定

ログアウト  
 Webブラウザ

電話設定

電話機能設定

- 回線1
- 回線2
- 回線3
- 回線4
- 回線5
- 回線6

ホットライン設定  
 フレキシブルキー設定  
 電話帳インポート  
 電話帳エクスポート

**電話帳エクスポート**

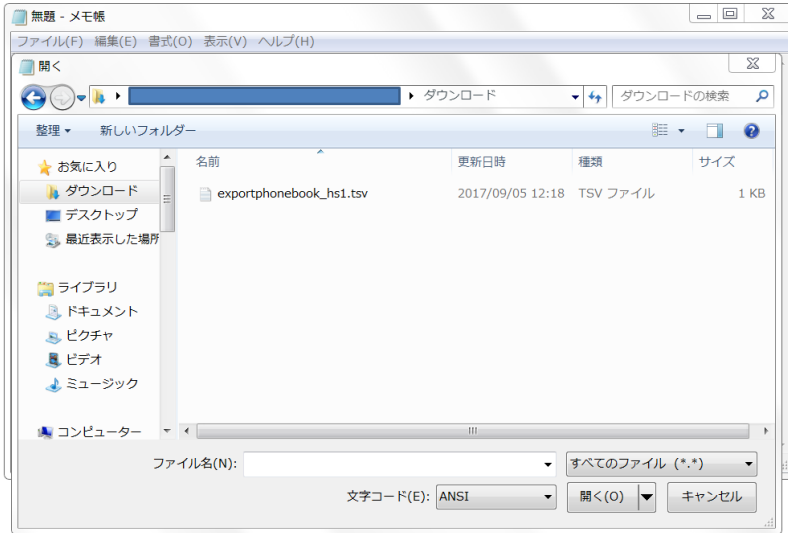
[エクスポート] ボタンをクリックすると、端末から電話帳を読み込みます。

**エクスポート**



## 2. テキストエディタで電話帳データを開く

前頁（電話帳エクスポート手順）で取得した「exportphonebook\_hs1.tsv」をテキストエディタでファイルを開く。（例：Windows メモ帳）



## 3. テキストエディタで電話帳データを編集する

電話帳データ「exportphonebook\_hs1.tsv」を下記項目に従い、編集する。

### テキスト形式の電話帳データ

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
1	松下 太郎	マツタ タロウ		0987654												1
2	松下 花子	マツタ ハナコ		0987653												2
3																
4																
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

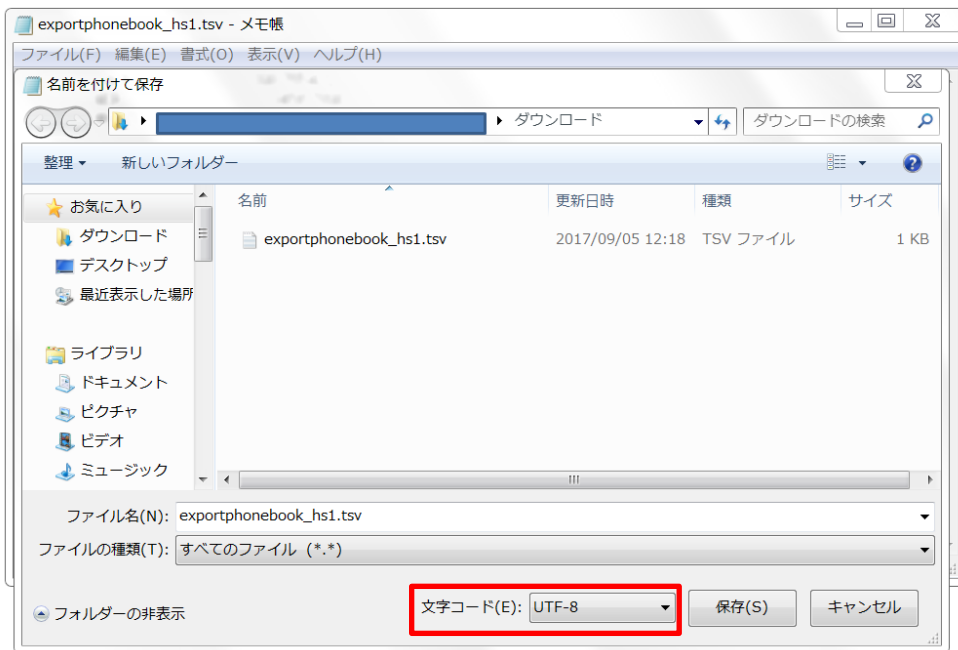
- ① レコード ID（固有の ID：1～500）（①は、Windows メモ帳の場合はありません）
- ② タブ
- ③ 名前（全角で最大 12 文字または半角で最大 24 文字）
- ④ タブ
- ⑤ フリガナ（半角で最大 24 文字）
- ⑥ タブ
- ⑦ 電話番号（最大 32 桁）
- ⑧ タブ
- ⑨ 電話番号（最大 32 桁）
- ⑩ タブ
- ⑪ 電話番号（最大 32 桁）
- ⑫ タブ
- ⑬ 電話番号（最大 32 桁）
- ⑭ タブ
- ⑮ 電話番号（最大 32 桁）
- ⑯ タブ
- ⑰ グループ（0～9）

#### 4. 電話帳データをUTF-8形式で保存する

[ファイル]をクリックし、[名前を付けて保存]をクリックする。

電話帳データ「exportphonebook\_hs1.tsv」をUTF-8形式で保存する。

例：Windows メモ帳



## 8.4 電話帳から発信

### ●電話帳から電話をかける

- ① 【電話帳】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押し、連絡先を選択する
- ③ 受話器を取る
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す



・KX-UT230Nでは、手順③で待機中(消灯)のフレキシブル機能キーを押して電話をかけることもできます。  
・1件の連絡先に対して複数の電話番号が登録されている場合、手順②で【番号】を押し、かけたい電話番号を選択してください。

### ●名前で検索する

- ① 【電話帳】を押す
- ② 【検索】を押す
- ③ 検索したい名前(フリガナ)を入力する(最大24文字)
- ④ 【決定】を押す  
検索条件に合った連絡先が表示されます。
- ⑤ 受話器を取る
- ⑥ 通話が終わったら、受話器を戻す



・1件の連絡先に対して複数の電話番号が登録されている場合、手順④で【番号】を押し、かけたい電話番号を選択してください。  
・1分間ボタンの操作が無い場合は、待機画面に戻ります。

## 8.5 文字入力のかた

文字や数字の入力には、ダイヤルキーを使用します。各ダイヤルキーには複数の文字が割り当てられています。

文字を入力するには、入力したい文字が表示されるまで対応するダイヤルキーを押します。同じキーに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、【→】を押してカーソルを右に移動させます。

例

「すすき」と入力するには、以下のようにキーを押します。

入力:	3	3	3	▶	3	3	3	*	2	2
表示:	さ	し	す	す	すす	すす	すす	すす	すすか	すすき

各キーに割り当てられた文字については、「入力可能文字一覧」を参照してください。

### 入力した文字を変換する

【変換】を押して、入力した文字を変換できます。

すすき	▶	変換	▶	鈴木	▶	【決定】
-----	---	----	---	----	---	------



【変換】を繰り返し押すと、別の変換候補が表示されます。

### 文字を削除する

【クリア】を押すと、最後に入力した文字が削除されます。

すすき	▶	クリア	▶	すす
-----	---	-----	---	----



【クリア】を長押しすると、入力したすべての文字を削除します。

### 入力した文字を修正する

【←】または【→】を押して修正したい文字にカーソルを動かし、以下のように文字を修正します。

- ・【クリア】を押して、カーソル上の文字を削除する

さ	すすき	▶	クリア	▶	すすき
---	-----	---	-----	---	-----

- ・ダイヤルキーを押してカーソルの位置に文字を挿入する。

すすき	▶	3	3	3	▶	すすき
-----	---	---	---	---	---	-----

### 全角と半角を切り替える

【全角】または【半角】が表示されている場合は、全角と半角を切り替えて入力することができます。

【全角】または【半角】を押すと、次に入力する文字の全角/半角を切り替えます。

- ・ 全角カタカナを半角カタカナに切り替えて入力する場合：



### 入力モード

入力モードを切り替えて、文字を入力することができます。

入力モードを切り替えるには、【かな漢】/【か】/【ABC】/【123】を押して表示したい入力モードを選択します。

また、【全角】または【半角】を押して、入力モードの全角/半角を切り替えることができます。

使用できる入力モードは、以下のとおりです。

アイコン	説明
<b>かな漢</b>	ひらがな入力モード ひらがなと記号が入力できます。入力した文字を漢字に変換することもできます（“入力した文字を変換する”参照）。
<b>カナ / 全角</b>	カタカナ（全角）入力モード 全角カタカナと記号が入力できます。
<b>カナ / 半角</b>	カタカナ（半角）入力モード 半角カタカナと記号が入力できます。
<b>ABC / 全角</b>	アルファベット（全角）入力モード 全角アルファベットと記号が入力できます。
<b>ABC / 半角</b>	アルファベット（半角）入力モード 半角アルファベットと記号が入力できます。
<b>123 / 全角</b>	数字（全角）入力モード 全角数字と記号が入力できます。
<b>123 / 半角</b>	数字（半角）入力モード 半角数字と記号が入力できます。

- ・入力するデータの種類によっては、入力モードを切り替えることが出来ない場合があります。

例：電話番号入力時には、数字モードしか使用できません。

## 入力可能文字一覧

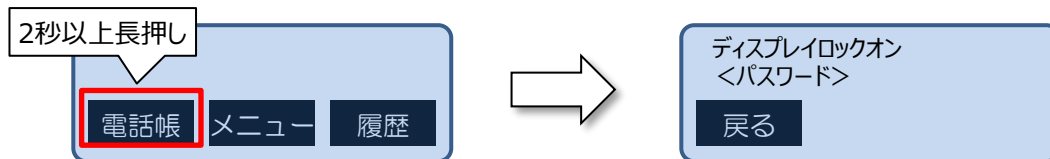
キー	文字入力モード						
	ひらがな	カタカナ (全角)	カタカナ (半角)	アルファベット (半角)	アルファベット (全角)	数字 (半角)	数字 (全角)
①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウイオ アイウイオ	-	-	1	1
②	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABCabc	ABCabc	2	2
③	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEFdef	DEFdef	3	3
④	たちつてとっ	タチツテトツ	タチツテトツ	GHIghi	GHIghi	4	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKLjkl	JKLjkl	5	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNOmno	MNOmno	6	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRSpqrs	PQRSpqrs	7	7
⑧	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	TUVtuv	8	8
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZwxyz	WXYZwxyz	9	9
⑩	わをん	ワヲン	ワヲン	-	-	0	0
⊛	..	..	..	*. - @ _ / ~	*. - @ _ / ~	*	*
⊛	<全角スペース> , . - . ! ?	<全角スペース> , . - . ! ?	<半角スペース> , . - . ! ?	# ( ) , ! ? + = \$ % ^ <半角スペース>	# ( ) , ! ? + = \$ % ^ <全角スペース>	#	#

## 8.6 電話帳のロック・解除

待機中に電話帳をロックしたり、ロックを解除したりすることができます。  
パスワードが設定してある場合に、電話帳をロックすることができます。  
パスワードの設定については、【10.4 パスワード変更】を参照してください。

### 電話帳をロックする

- ① 待機中に[電話帳]を2秒以上長押しする
- ② パスワードを入力する（通話履歴もロックされます）



### 電話帳をロックを解除する

- ① [電話帳]を2秒以上長押しする
- ② パスワードを入力する  
パスワードを3回間違えると、約30秒間は他のパスワードを入力することができません。

### 電話帳をロックを一時的に解除する

- ① [電話帳]または[履歴]を押す
- ② パスワードを入力する  
パスワードを3回間違えると、約30秒間は他のパスワードを入力することができません。

## 9- マルチライン

---

- 9.1 マルチラインとは
- 9.2 マルチラインの電話のかけ方
- 9.3 マルチラインの電話の受け方
- 9.4 マルチラインの保留
- 9.5 マルチラインのコールピックアップ/パーク
- 9.6 マルチラインの留守番電話
- 9.7 マルチラインの着信音

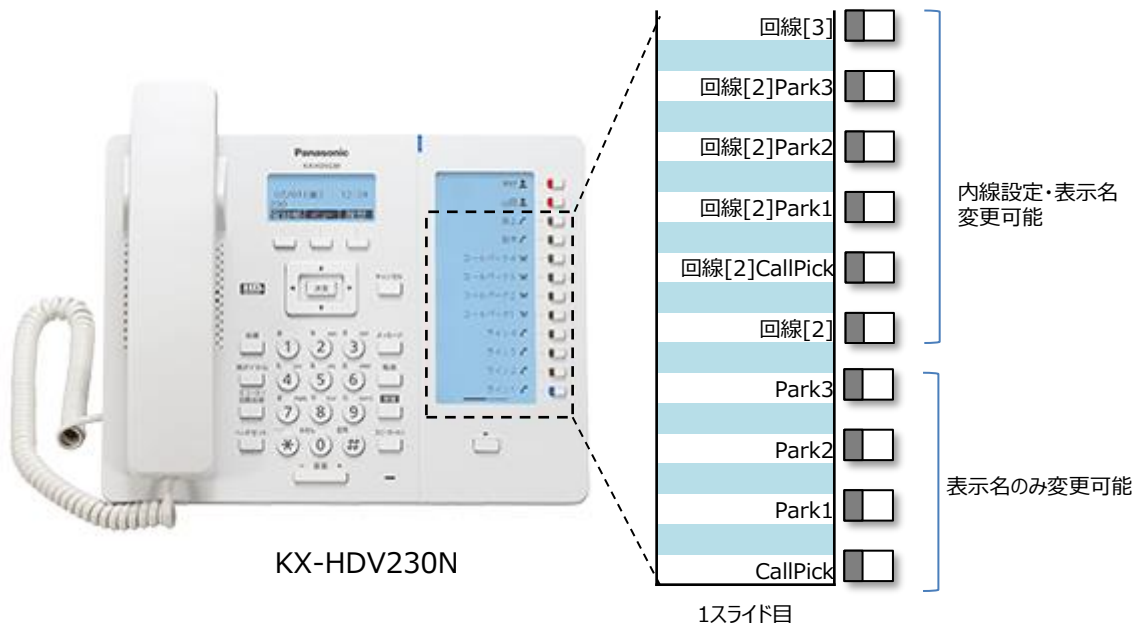


- ・対応機種は、KX-HDV230Nとなります。
- ・マルチラインの設定方法については、『Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照ください。



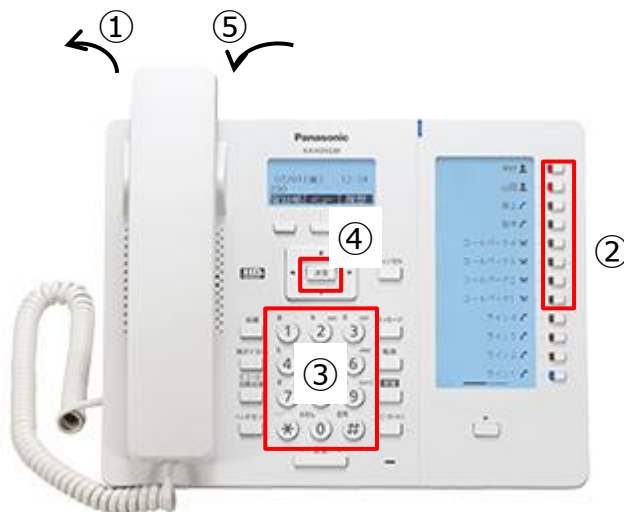
## 9.1 マルチラインとは

1台の電話機で複数の電話番号を利用できる機能です。(最大6番号)  
 フレキシブル機能キーの設定・変更ができます。  
 セルフラベリング液晶表示部1スライド目、最下部より上4番目まで表示名のみ  
 上記以外は内線設定・表示名 (2スライド目も含む) の変更ができます。



## 9.2 マルチラインの電話のかけ方

- ① 待機中に受話器を取る
- ② 使用する回線のフレキシブル機能キーを押す
- ③ 電話番号を入力する(最大32桁)
- ④ 【決定】か【呼出】を押す。または電話がかかるまで数秒待つ
- ⑤ 通話が終わったら受話器を戻す



## 9.3 マルチラインの電話の受け方

- ① 点滅しているフレキシブル機能キーを押す
- ② 受話器を取る
- ③ 通話が終わったら、受話器を戻す



・電話の受け方は、①>>②の順番でお願いします。  
 ・複数スライドに、内線設定がある状態で着信があると以下の現象が起きます。  
 メッセージ/リンガーLEDが点滅時に、フレキシブル機能キーが点滅していないことがあります。  
 その際、ページキーを押し点滅しているフレキシブル機能キーを押してください。



## 9.4 マルチラインの保留

通話中の電話を保留することができます。

- ① 【保留】を押す
  - ② 受話器を戻す
- または待機中(消灯)又は着信中(青点滅[速])のフレキシブル機能キーを押して、現在の通話を保留することもできます。  
 保留を解除するには、保留中(青点滅[速])のフレキシブル機能キーを押します。

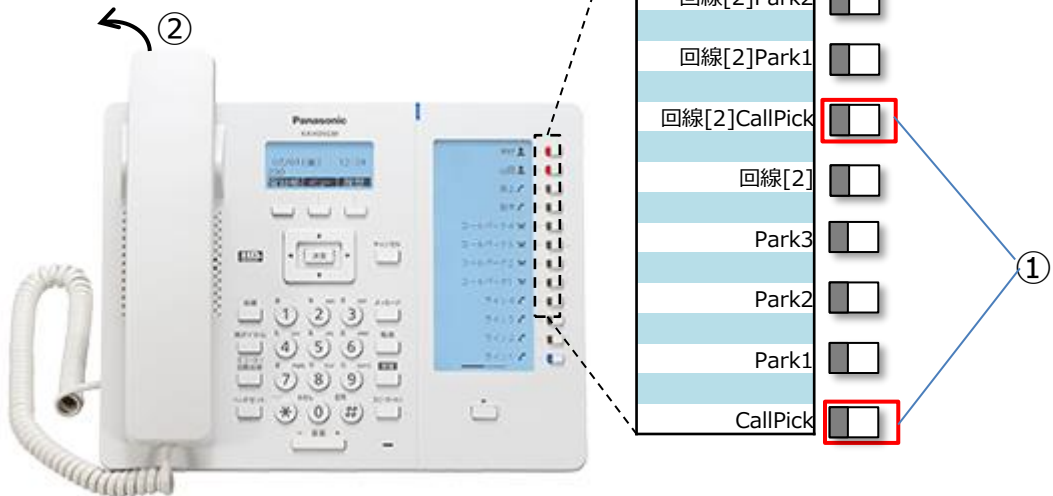


## 9.5 マルチラインのコールピックアップ/パーク保留

### ●コールピックアップ

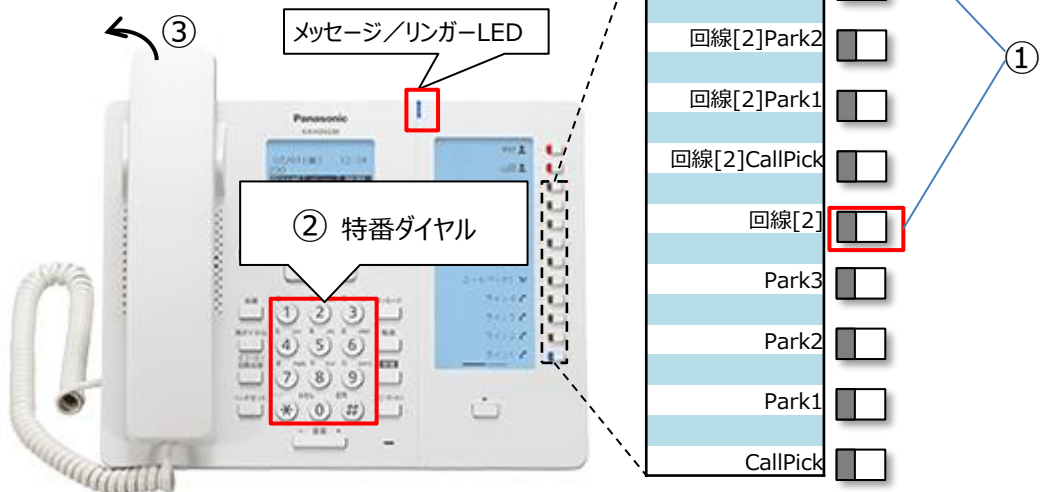
#### ワンタッチ(短縮ダイヤル)で取る

- ① 対象のフレキシブル機能キー【CallPick】を押す
- ② 受話器を取る



#### 特番(\*4)で取る

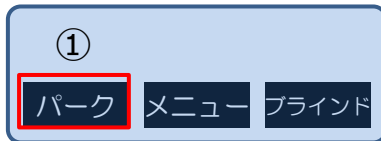
- ① 該当の回線 (設定内線番号) を押す
- ② 特番 (\* 4) をダイヤル
- ③ 受話器を取る



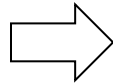
・複数スライドに、コールピックアップ/パーク保留があると以下の現象が起きます。  
表示していないスライドに対するコールピックアップは着信音が鳴らず、メッセージ/リンガーLEDも点滅しない為、2スライド目にコールピックアップ/パーク保留設定は入れないでください。

## ●パーク保留

- ① 液晶表示部の【パーク】を押してパーク保留する  
(通話中に、パーク保留用特番 \* 3 をダイヤルでもパーク保留可能)  
「100X (Xは1~3)」と、パーク保留応答特番のガイダンスが流れる
- ② 【実行】を押す、または受話器を戻す



(液晶表示部イメージ)



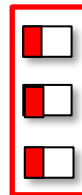
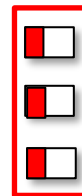
②ガイダンスが流れる「100X(Xは1~3)」

- ・パーク保留を実施した方は、パーク保留中の電話に応答していただきたい方に、上記②のパーク応答特番(ガイダンスにて案内された「100X (Xは1~3)」と該当内線番号を伝えてください)
  - ・誤って(下図③赤実線部分)を押すと、ガイダンス後、ピーピーと音が鳴り続ける状態になります。(パーク保留ではありません)
- 上記の操作をしてしまった場合、液晶表示部【応答】を押すことで通話状態に戻ります。
- ・パーク保留中に通話を終了せず、パーク応答をすると、保留中の電話とパーク応答しようとした電話が繋がって通話状態になります。
- 対策は、以下を行ってください。  
パーク保留中にパーク応答する際は、必ず現在の通話を終了してからパーク応答をしてください。

(図③)



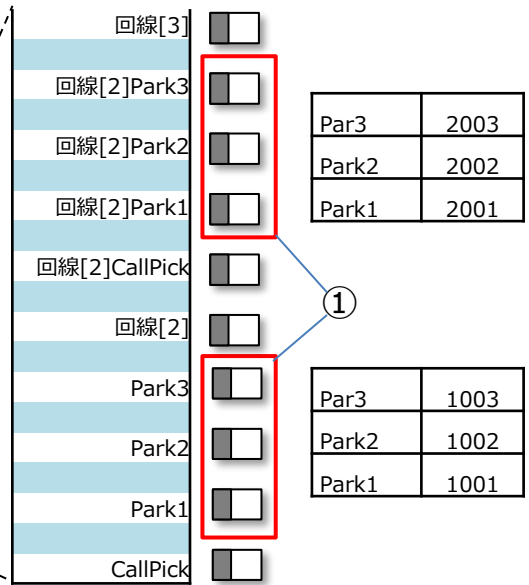
回線[3]
回線[2]Park3
回線[2]Park2
回線[2]Park1
回線[2]CallPick
回線[2]
Park3
Park2
Park1
CallPick



## ●パーク応答

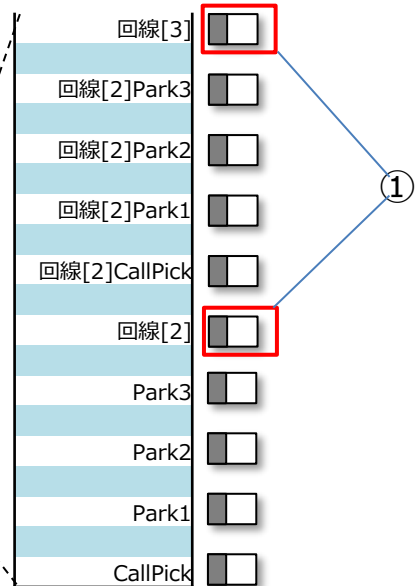
### ワンタッチ(短縮ダイヤル)で取る

- ① 対象のフレキシブル機能キー【Park1～3】を押す
- ② 受話器を取る



### 特番(100X(Xは1～3))で取る

- ① 該当の回線 (設定内線番号) を押す
- ② 特番 (100X(Xは1～3)) をダイヤル
- ③ 受話器を取る



## 9.6 マルチラインの留守番電話

操作については、【7.1 留守番電話】を参照してください。

- ・留守番電話メッセージがある場合は、メッセージ/リンガー-LEDは青点滅し、液晶表示部は「メッセージ」の表示が残ります。

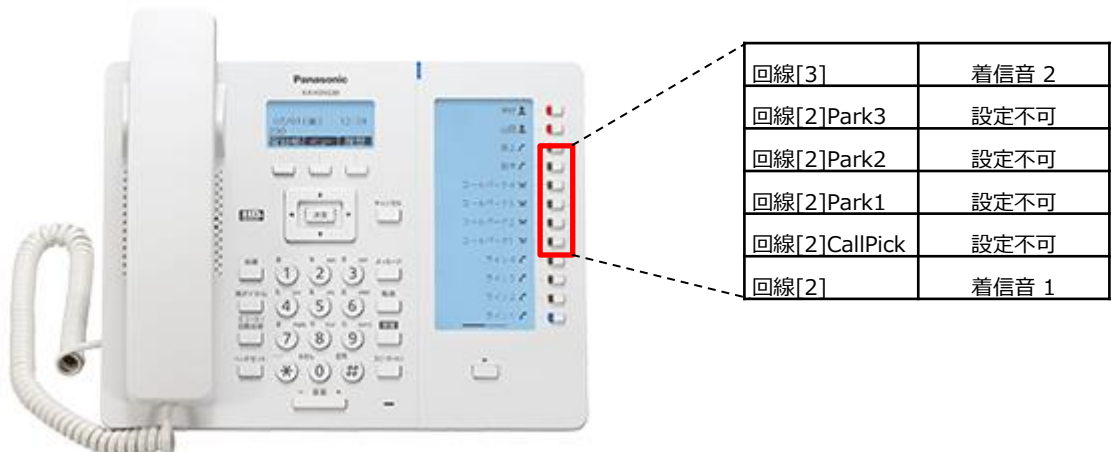


メッセージがある回線を特定することはできません。全ての回線で確認をお願いします。



## 9.7 マルチラインの着信音

設定しているフレキシブル機能キーごとに着信音を設定することができます。  
設定方法については、【10.1 着信音の変更】の「項目：着信音色」を参照してください。  
着信音の設定ができるのは内線番号のみとなります。



## 10- その他

---

- 10.1 着信音の変更
- 10.2 LCDコントラスト
- 10.3 バックライト
- 10.4 パスワード変更
- 10.5 インフォメーション表示
- 10.6 ネットワーク設定
- 10.7 リスタート
- 10.8 内線テストコール
- 10.9 本機を接続/設置する
- 10.10 話中着信（コールウェイティング）
- 10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス

## 10.1 着信音の変更

項目	説明	設定できる内容	初期値
着信音量	着信音の音量を調節します。	オフ、レベル1～8	5

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[着信オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[着信音量]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して着信音量[オフ、レベル1～8]を選択し、[決定]を押す

項目	説明	設定できる内容	初期値
着信音色	着信時に使用する着信音を選択します。	オフ、 着信音 1～27	着信音 1（回線 1 の場合） 初期値は回線番号により異なります。

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[着信オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[着信音]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して鳴り分けする[回線[1～6]、プライベート着信音]を選択し、[決定]を押す
- ⑥ 【▲】または【▼】を押して着信音[着信音[1～27、オフ]]を選択し、[決定]を押す



着信音は、⑤でプライベート着信音を選択することで電話帳へ設定することもできます。



## 10.2 LCDコントラスト

項目	説明	設定できる内容	初期値
LCDコントラスト	画面のコントラスト（濃淡）を調節します。	1～6段階	3

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[表示オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[LCDコントラスト]を選択し、[決定]を押す  
KX-HDV230Nの場合、[メイン LCD][サブ LCD][DSS LCD]を選択し、[決定]を押す

## 10.3 バックライト

項目	説明	設定できる内容	初期値
バックライト	バックライトの設定を変更します。 「自動」または、「オン」を選択してバックライトの明るさを調整します。	自動、オン（レベル1～レベル6）、オフ	自動

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[表示オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[バックライト]を選択し、[決定]を押す



「自動」が選択された場合、電話が待機中になるとバックライトは消灯します。

## 10.4 パスワード変更

項目	説明	設定できる内容	初期値
パスワード変更	電話帳のロックを解除するためのパスワード（4桁）を変更します。	1. 古いパスワードを入力する 2. 新しいパスワードを入力する 3. 確認用パスワードを入力する	未登録

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[その他]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[パスワード変更]を選択し、[決定]を押す



・電話帳のロックについては、【8.5 電話帳のロック・解除】を参照してください。  
・忘れないようパスワードを書きとめておいてください。

## 10.5 インフォメーション表示

本機のさまざまな情報を確認できます。

サブメニュー	説明	状態
回線ステータス KX-HDV130N : 回線 [1] ~回線 [2] KX-HDV230N : 回線 [1] ~回線 [6]	回線の SIP サーバーへの登録状態を表示します。	登録完了 <sup>1</sup> 、登録中… <sup>1</sup> 、(空白)
ファームウェアバージョン	本機のソフトウェアバージョンを表示します。	—
IP モード	IP ネットワークモードを表示します。	IPv4、IPv6、IPv4 & IPv6
IPv4 設定	IPv4 のネットワーク設定情報を表示します。	IP アドレス <sup>2</sup> サブネットマスク <sup>2</sup> デフォルトゲートウェイ <sup>2</sup> DNS <sup>2</sup>
IPv6 設定	IPv6 のネットワーク設定情報を表示します。	IP アドレス <sup>3</sup> プリフィックス <sup>4</sup> デフォルトゲートウェイ <sup>3</sup> DNS <sup>3</sup>
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。	—
LLDP	LLDP の状態を表示します。	オン、オフ
CDP	CDP の状態を表示します。	オン、オフ
VLAN	VLAN の ID と優先度を表示します。	—

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[システム設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[ステータス]を選択し、[決定]を押す

## 10.6 ネットワーク設定

サブメニュー	説明	設定できる項目		初期値
IP モード選択	電話機のネットワーク設定を変更します。現状の設定はハイライトで表示されます。	IPv4、IPv6、IPv4 & IPv6		IPv4
IPv4 設定	IPv4 に関する設定を行います。	DHCP	自動、 マニュアル (DNS 1、DNS 2)	DHCP - 自動
		アドレス指定	IP アドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNS 1 DNS 2	
IPv6 設定	IPv6 に関する設定を行います。	DHCP	自動、 マニュアル (DNS 1、DNS 2)	DHCP - 自動
		RA	DNS 1 DNS 2	
		アドレス指定	IP アドレス プリフィックス デフォルトゲートウェイ DNS 1 DNS 2	
LLDP	LLDP を設定します。	PC ポート	VLAN ID	0
			プライオリティ	0
		オン オフ		オン
CDP	CDP を設定します。	オン、オフ		オフ
VLAN	VLAN を設定します。	VLAN 設定	はい、いいえ	いいえ
		IP 電話	VLAN ID	2
			プライオリティ	7
		PC	VLAN ID	1
プライオリティ	0			
通信速度 <sup>1)</sup>	イーサネットの動作モードを設定します。	IP 電話	自動、 100M 全二重、 100M 半二重、 10M 全二重、 10M 半二重	自動
		PC	自動、 100M 全二重、 100M 半二重、 10M 全二重、 10M 半二重	自動

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[システム設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[ネットワーク設定]を選択し、[決定]を押す

## 10.7 リスタート

サブメニュー	説明	設定できる項目	初期値
リスタート	本機を再起動します。	はい、いいえ	いいえ

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[システム設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[システム オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[リスタート]を選択し、[決定]を押す

## 10.8 内線テストコール

端末の新設時、または接続性の確認のためにシステムとの接続テストを行えます。

- ① 内線テストコール特番 1 2 3 4 をダイヤル
- ② 内線テストコールのガイダンスが流れる  
「このサービスは利用可能です」

## 10.9 本機を接続/設置する

### スタンドを取り付ける

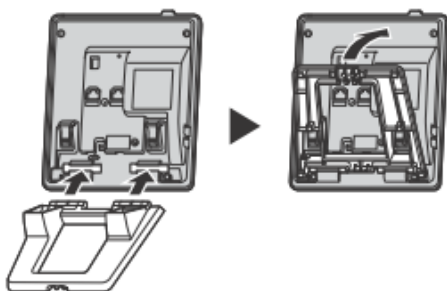
本機にスタンドを取り付けます。

- ① 本機背面の差し込み口にスタンドを差し込む
- ② 矢印(▲)の方向にスタンドをゆっくり押し固定する

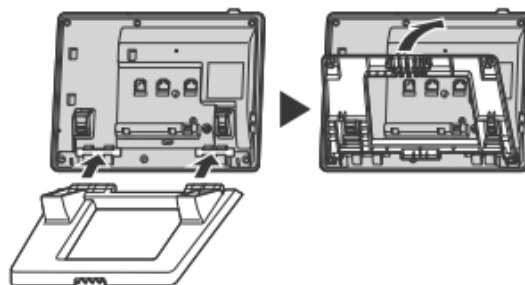


スタンドを取り付ける際に液晶表示部を下にする場合は、必ず柔らかい布を敷いて作業をお願いします。

KX-HDV130N



KX-HDV230N

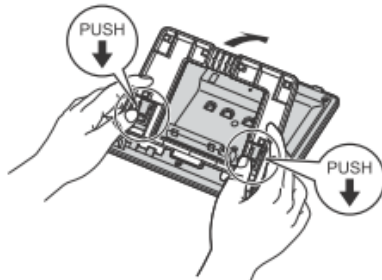


### 本体の角度を調整する

スタンドのPUSHマークを両手で押しながら、スタンドを矢印の方向に傾け、望ましい位置に固定します。

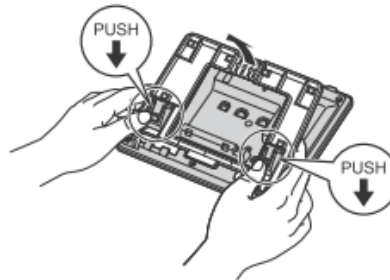
低い位置へ調整する

例：KX-HDV230N



高い位置へ調整する

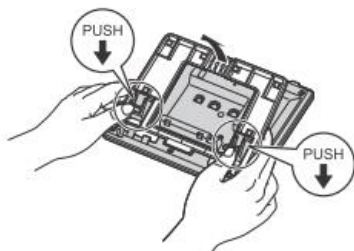
例：KX-HDV230N



### スタンドを取り外す

スタンドのPUSHマークを両手で押しながら、矢印の方向にスタンドを取り外します。

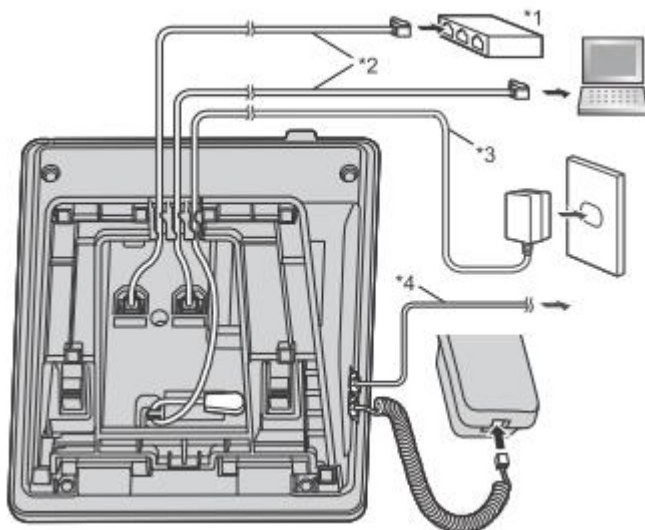
例：KX-HDV230N



### 本機を接続する

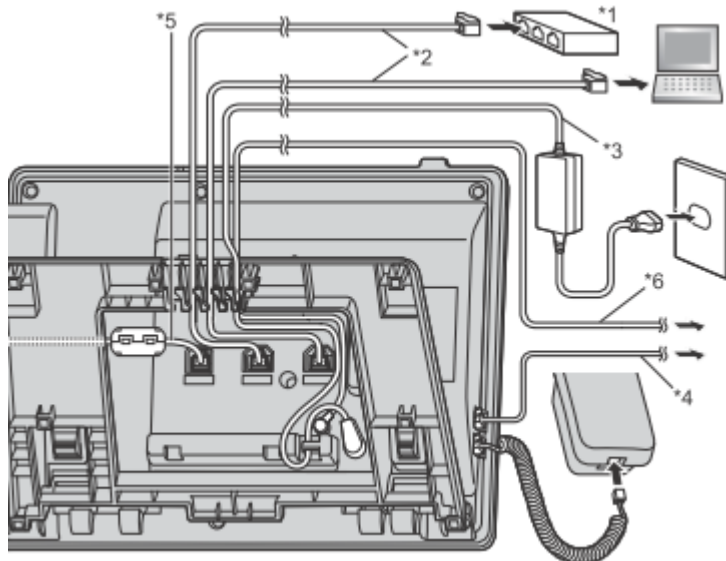
LANケーブル、受話器コード、ACアダプター(\*3)を本体に接続します。

#### KX-HDV130N



- \*1 スイッチングハブ
- \*2 LANケーブル
- \*3 ACアダプター(PoE給電の場合は不要)
- \*4 市販のヘッドセット
- \*5 連結ケーブル
- \*6 市販のEHSヘッドセット

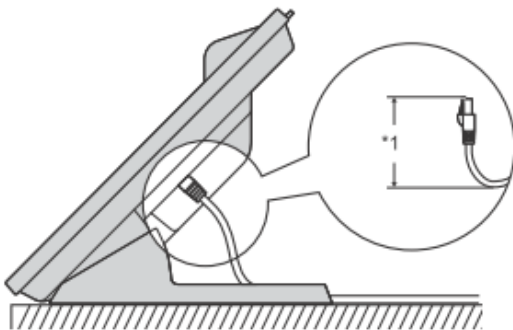
#### KX-HDV230N



IPアドレスの初期設定は、「DHCP」の「自動」です。

### LANケーブル(市販品)について

- ・ 直径6.5mm以下のカテゴリ5eストレートケーブル(市販品)をご使用してください。
- ・ 耐火性または防火性のLANケーブルをご使用してください。
- ・ 柔軟性のあるLANケーブルをご使用してください。
- ・ 表面が硬いLANケーブルは、曲げたときに割れたり裂けたりするおそれがありますのでご使用しないでください。
- ・ LANケーブルが損傷しないように、LANケーブルは本機の底面から突き出さないようにしてください。
- ・ LANケーブルは、次のように接続してください。



\*1 60mm以下

### スイッチングハブを接続するとき

PoE給電の場合は、ACアダプターは不要です。  
 KX-HDV130Nは、PoEクラス1に対応しています。  
 KX-HDV230Nは、PoEクラス2に対応しています。

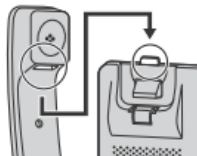
### LANケーブルとACアダプターの接続について

LANケーブルとACアダプターは、スタンドの下を通してください。

### 受話器を固定する

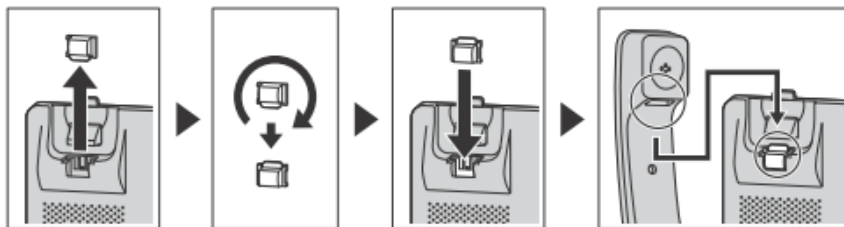
通話中に受話器を一時的に置くと

1. 受話器の本機上部のツメに引っ掛ける



壁掛け設置のとき、以下の手順で受話器を固定することができます。

1. 受話器フックを上へ押し抜く
2. 受話器フックを上下逆さまにする
3. 「カチッ」と音がするまで、受話器フックを溝に押し込んで固定する



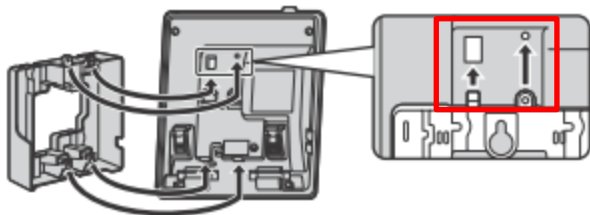
### 壁に設置する

壁掛けアダプターのツメを本機背面の差し込み口に差し込み、「カチッ」と音がするまで矢印方向にずらす

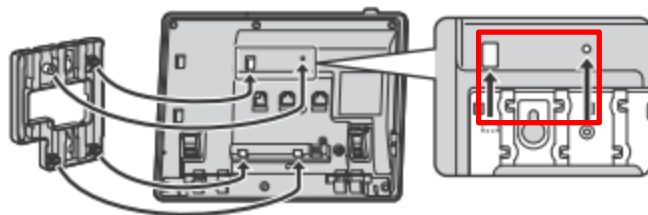


- ねじを取り付ける際、壁内部のパイプや電気ケーブルなどを避けて、取り付けをお願いします。
- 取り付けに使用するねじやワッシャーは、付属のものを使うようお願いします。
- 壁掛けアダプターを取り付ける際に液晶表示部を下にする場合は、必ず柔らかい布を敷いて作業をお願いします。
- 壁の種類によっては、ねじを固定するために市販のアンカープラグを使用して設置する必要があります。

KX-HDV130N



KX-HDV230N





## 10.10 話中着信（コールウェイティング）

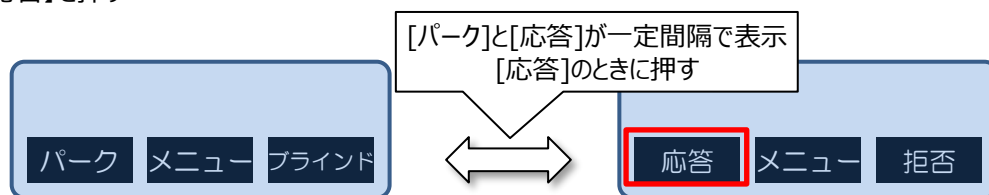
通話中に電話がかかってきた場合に、話中着信音が聞こえます。現状の通話を切る、または保留にし、通話中にかかってきた相手と通話できます。この機能が有効なときのみ使用できます。（初期値＝有効）

### 通話中の電話を切断して、かけてきた相手と通話する

- ① 受話器を戻す
- ② 受話器を取る

### 通話中の電話を保留して、かけてきた相手と通話する

- ①【応答】を押す



- ・KX-HDV130Nの場合、【保留/メッセージ】を押すことでも、かけてきた相手と通話することができます。
- ・KX-HDV230Nの場合、【保留】を押し受話器を戻すことで、かけてきた相手と通話することができます。

### ● 話中着信を無効にする方法

- ・内蔵webサイトで変更する

パソコンからIP電話機の内蔵Web（Webプログラミング）へ入り、コールウェイティング機能を有効→無効に設定する。パソコンから内蔵Webへアクセスについては、【10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス】を参照してください。

- (A) [電話設定]タブをクリック
- (B) 対象の[回線X]をクリック
- (C) コールウェイティング○無効をクリック

### ・web設定変更サイトで変更する

パソコンからweb設定変更サイトにアクセスし、コールウェイトイング機能を有効→無効に設定する。

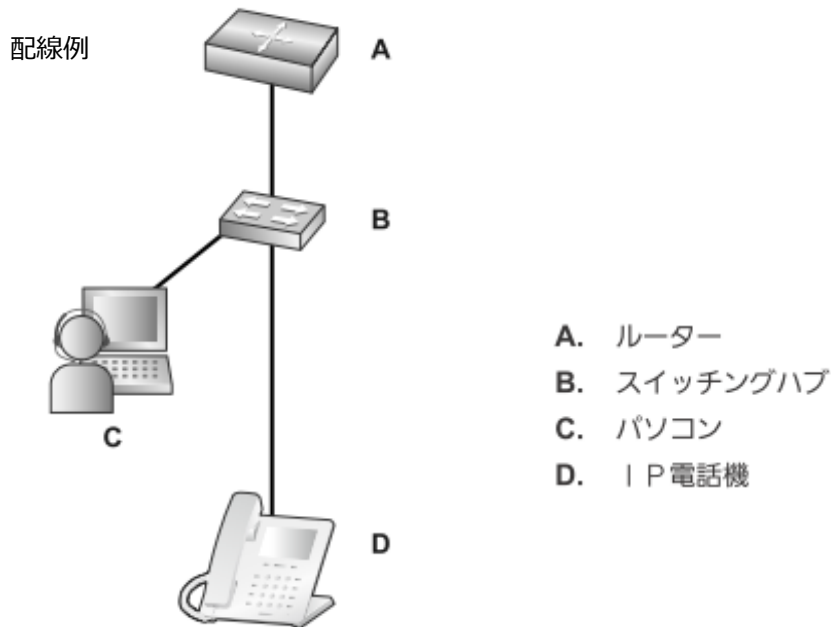
- ① web設定変更サイトにログインする
- ② コールウェイトイングを変更したいIP電話機を選択する
- ③ 内線設定画面にあるコールウェイトイング項目のoffを選択して変更ボタンを押下する
- ④ web設定変更サイトで設定完了後、IP電話機を再起動させる



- ・IP電話機再起動後、設定反映が完了するまで5分間かかります。
- ・設定反映完了までに着信すると、端末が自動再起動してしまう場合がございます。  
正常に起動しない可能性があるため、改めて再起動を実施してください。
- ・IP電話機への設定反映には時間が掛かるため、着信が多い時間帯を避けて設定いただくことをお勧めします。
- ・web設定変更サイトの操作については、Arcstar SmartPBX Web設定変更サイト 操作マニュアルを参照ください。

## 10.11 パソコンから内蔵Webへアクセス

本機をネットワークに接続した後で、同じネットワークに接続されているパソコンから内蔵Web(Webプログラミング)にアクセスして本機の設定を指定できます。



### ●内蔵Webにアクセスする前に

本機は次の仕様をサポートします。

HTTPバージョン	HTTP/1.0 (RFC 1945)、HTTP/1.1 (RFC 2616)
認証方法	ダイジェスト

内蔵Webは次の環境で正常に動作します。

オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® 7、Windows 8、Windows 10 オペレーティングシステム
Webブラウザ	Windows Internet Explorer® 7、Windows Internet Explorer 8、Windows Internet Explorer 9、Windows Internet Explorer 10、Windows Internet Explorer 11 Webブラウザ、Microsoft Edge、Firefox® (32.0.3)、Google® Chrome™ (37.0.2062.103)
言語 (推奨)	日本語

## ●内蔵Webをオンにする

内蔵Webにアクセスするには、本機のWebポートを事前に開く必要があります。

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[その他]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[内蔵Web]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して[オン]を選択し、[決定]を押す

## ●本機のIPアドレスを確認する

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[システム設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[ステータス]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して(IPv4の場合)[IPv4設定]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して[IPアドレス]を選択し、[決定]を押す

## ●内蔵Webへのアクセス

Webブラウザを開き、ブラウザのアドレスフィールドに「http://」と入力し、その後に本機のIPアドレスを入力します。

認証のために、ユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

ユーザ名は、は「user」で、初期値のパスワードは空白です。ユーザ名を変更することはできません。

ログイン後、パスワード変更を行います。変更後のパスワードは大切に保管してください。

IP電話機のIPアドレス

http://\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*

**認証が必要**

http://192.168.11.13 にはユーザー名とパスワードが必要です。  
このサイトへの接続はプライベート接続ではありません。

ユーザ名:

パスワード:

ユーザ名 : user  
 パスワード : \* \* \* \*

パスワード (初期値)	パスワードの制限
-空白- (NULL)	パスワードは6～64文字のACSII文字 (大文字と小文字が区別されます) で指定できます。



- ・IP電話機再起動後、設定反映が完了するまで5分間かかります。
- ・設定反映完了までに着信すると、端末が自動再起動してしまう場合がございます。  
正常に起動しない可能性があるため、改めて再起動を実施してください。
- ・IP電話機への設定反映には時間が掛かるため、着信が多い時間帯を避けて設定いただくことをお勧めします。
- ・内蔵webの操作については、Arcstar SmartPBX Web設定変更サイト 操作マニュアルを参照ください。

## 11- 留意点

---

- 11.1 ご利用ネットワーク環境における設定**
- 11.2 IP電話機お買上げ時の管理者権限**
- 11.3 IP電話機接続の注意**
- 11.4 IP電話機へのデータ反映**
- 11.5 IP電話機が操作できなくなった場合**

## 11.1 ご利用ネットワーク環境における設定

- ・Arcstar Universal One環境でご利用いただく場合、一旦インターネットへ接続して自動設定したのち、Arcstar Universal Oneへ接続し直してください。
  - ・端末自動設定をご利用の際は、Web設定変更サイトでご利用ネットワーク環境（Arcstar Universal Oneまたはインターネット）に合った接続種別を適切に設定してください。ご利用のネットワーク環境と異なった接続種別を設定した場合、ご利用できません。
- なお、端末自動設定の接続種別（初期設定）は下記となります。

お申込み形態	Arcstar Universal One接続オプション	IP電話機お買上げメニューお申し込み時における端末自動設定の接続種別（初期設定）
新規	利用なし	インターネット
	利用あり	Arcstar Universal One
変更	利用なし → 利用なし	インターネット
	利用なし → 利用あり	インターネット
	利用あり → 利用なし	インターネット
	利用あり → 利用あり	Arcstar Universal One

## 11.2 IP電話機お買上げ時の管理者権限

IP電話機お買上げメニューでご購入された場合、IP電話機（Panasonic製KX-HDV130N/KX-HDV230N）の管理者機能を制限しています。そのため、お客様にて管理者機能を必要とする設定を行うことはできません。

## 11.3 IP電話機接続の注意

IP電話機を以下機器のLANポートに直接ケーブル接続するとアドレスの自動取得（DHCP）がされず、それに伴いネットワーク接続及び通話が出来なくなります。

- ① Netcommunity OG410Xi
- ② Netcommunity OG810Xi

対策は以下のどちらかを行ってください。

- ① 上記機器のLANポートに他のルーターを接続し、IP電話機を直に接続しない。
- ② IP電話機のIPアドレスを固定に設定する。

※IP電話機のIPアドレス固定方法はIP電話機取扱説明書を参照ください。

<https://archives.connect.panasonic.com/netsys/sipphone/support/download/>

## 11.4 IP電話機へのデータ反映

- ・IP電話機への更新データが反映されるのに、端末再起動後、5分間掛かります。
- ・設定反映完了までに着信すると、端末が自動再起動してしまう場合がございます。  
正常に起動しない可能性があるため、改めて再起動を実施してください。
- ・IP電話機の設定変更を行う際、設定反映に時間が掛かるため、着信が多い時間帯を避けて設定いただくことをお勧めします。

## 11.5 IP電話機が操作できなくなった場合

- ・IP電話機の表示画面が固まり、ボタン操作の反応がなくなってしまう場合は以下の通り給電を止めてください。  
ACアダプター利用の場合：該当のIP電話機のIP電話機側のACアダプターを抜きます。  
PoE利用の場合：該当のIP電話機のLANケーブルを抜きます。各ケーブルを結線して再起動させてください。



・LANケーブル・ACアダプター接続部については、【10.9 本機を接続/設置する】を参照ください。

## 12- 機能用語集

---

**12.1 コールピックアップとは**

**12.2 パーク保留とは**



## 12.1 コールピックアップとは

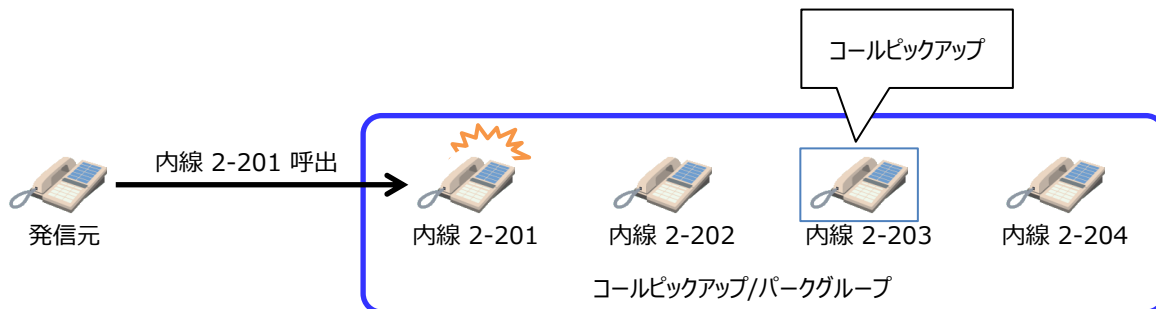
グループ内の端末が鳴動中に他の端末から着信を取る（ピックアップ）ことができる機能です。

### 【使用例】

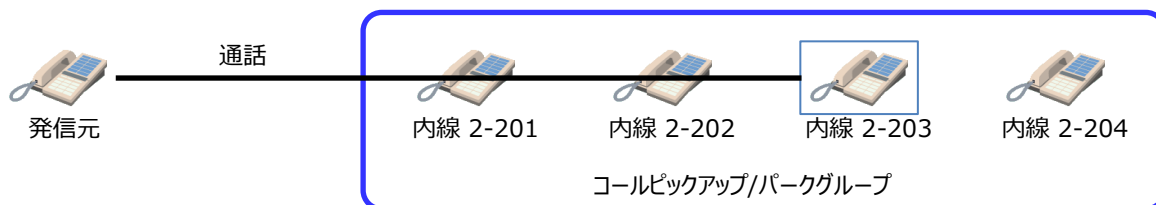
①グループに所属している内線に電話がかかってきました。



②グループ内の別の内線電話機の受話器を上げて、コールピックアップ特番（\* 4）をダイヤルするか、コールピックアップボタン(KX-HDV230Nのみ)を押します。



③グループ内の別の内線電話機で代理応答・通話ができます。（発信元番号は表示しません）

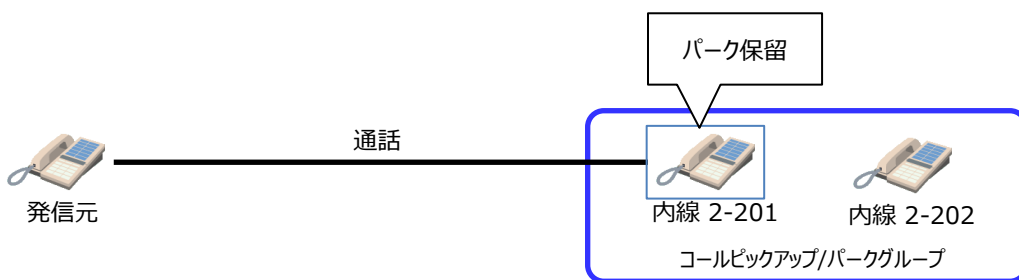


## 12.2 パーク保留とは

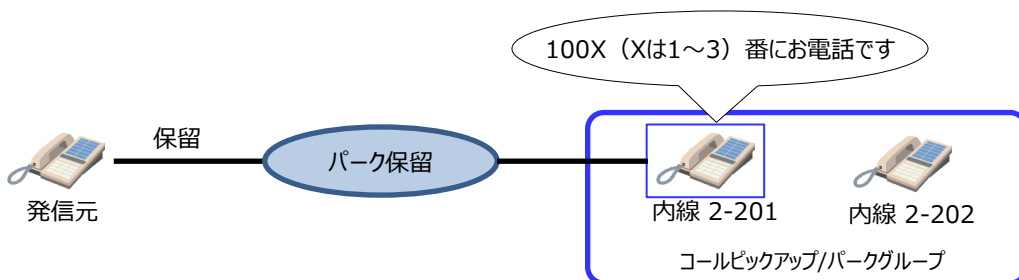
通話中の呼を保留（パーク保留）し、他の端末で保留呼（パーク応答）に応答することができる機能です。

### 【使用例】

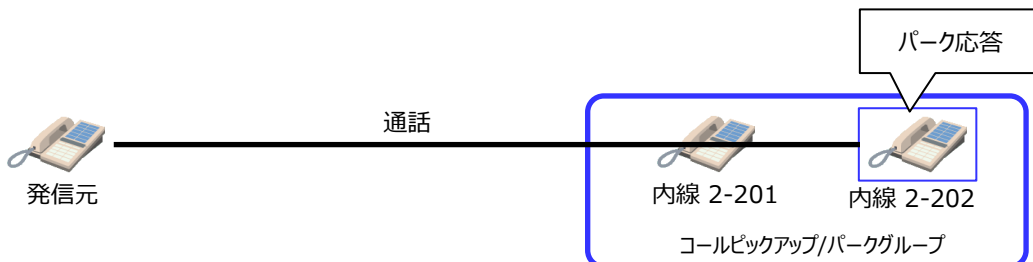
①通話中、パーク保留特番（\* 3）をダイヤルするか、パークボタン(KX-HDV230Nのみ)を押します。



②パーク保留応答特番が、パーク保留の操作をした電話機にガイダンスされます。  
グループ内の方などに、ガイダンスされたパーク保留応答特番 100X (Xは1～3) を伝えます。



③パーク保留応答特番(1001～1003のいずれか)をダイヤルするか、パークボタン(KX-HDV230Nのみ)を押すと、保留していた相手との通話状態になります。



- 記載内容は2023年2月現在のものです。
- 記載のサービス仕様、装置等は予告なく変更する場合がございます。
- 本マニュアルの無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。
- 記載されている企業名やサービス／製品名は各社の商標または登録商標です。